

数量計算書

配水管布設工

1 材料費

材料費数量調書

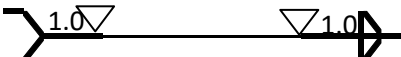
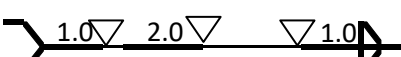
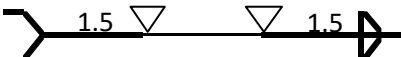
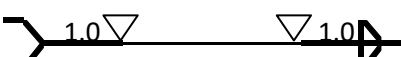
名 称	形状寸法	単位	配水管更新	合計	設計数量
ダクタイル鋳鉄管 直管 GX形S種	内面エポキシ樹脂粉体塗装 φ 200 L=5.0m	本	38	38	38
ダクタイル鋳鉄管 直管 GX形S種	内面エポキシ樹脂粉体塗装 φ 75 L=4.0m	本	2	2	2
ダクタイル鋳鉄異形管 GX形 曲管	φ 200 11度	個	2	2	2
ダクタイル鋳鉄管 GX形 乙字管	φ 200×450	個	2	2	2
ダクタイル鋳鉄管 GX形 二受T字管	φ 200×200	個	1	1	1
ダクタイル鋳鉄管 GX形 二受T字管	φ 200×100	個	2	2	2
ダクタイル鋳鉄管 GX形フランジ付T字管	φ 200×75 GX形	個	1	1	1
ダクタイル鋳鉄管 GX形 挿し受片落ち管	φ 100×75	個	2	2	2
GX形 ソフトシール仕切弁 両受タイプ	φ 200	個	1	1	1
GX形 ソフトシール仕切弁 受挿し式	φ 200	個	2	2	2
GX形 ソフトシール仕切弁 受挿し式	φ 75	個	2	2	2
ダクタイル鋳鉄異形管 GX形 継ぎ輪	φ 200	個	2	2	2
ダクタイル鋳鉄異形管 GX形 接合部品	φ 200	個	10	10	10
ダクタイル鋳鉄異形管 GX形 接合部品	φ 100	個	2	2	2
ダクタイル鋳鉄異形管 GX形 接合部品	φ 75	個	2	2	2

名 称	形状寸法	単位	配水管更新	合計	設計数量
ダクタイル鋳鉄異形管 GX形 切管ユニット	φ 200 G-LINKセット	個	8	8	8
ダクタイル鋳鉄異形管 GX形 切管ユニット	φ 75 G-LINKセット	個	2	2	2
ダクタイル鋳鉄異形管 GX形 ライナ	φ 200 ライホート®含む	個	13	13	13
ダクタイル鋳鉄異形管 GX形 ライナ	φ 75 ライホート®含む	個	2	2	2
DCIP 帽	φ 200 GX形	個	1	1	1
管表示テープ	30mm×20m 年号入り	個	19	19	19
フランジパッキン	φ 75	枚	3	3	3
フランジボルトナット	SUS304 M16×75 被膜処理加工	本	12	12	12
ステンレス座金	M16 SUS304	枚	24	24	24
フランジ短管(Ⅱ類)	φ 75×200 内面紛体	個	1	1	1
ボール型補修弁	φ 75×100 内外面紛体	個	1	1	1
地下式消火栓	7.5K 内外面ボール樹脂粉体塗装 単口 φ 75	個	1	1	1
HIVP	φ 75 L=4.0m	本	1	1	1
HIVP 曲管	φ 75 22度	個	1	1	1
Sベンド	φ 75×300	個	1	1	1

名 称	形状寸法	単位	配水管更新	合計	設計数量
VCジョイント	内外面粉体塗装 φ 75 離脱防止内蔵型	個	2	2	2
VSジョイント	内外面粉体塗装 φ 75 離脱防止内蔵型	個	1	1	1
離脱防止金具	φ 75	個	2	2	2
仕切弁篋	中長 700-1165	基	5	5	5
丸台座 再生プラスチック	中、中長、小、最小	基	5	5	5
消火栓鉄蓋 φ 600 デザイン入消火栓用ボックス	鉄蓋 φ 600レンボックス H=200+300 2段底板 微調整金具・取付ボルト 各1組無収縮モルタル	組	1	1	1
無収縮モルタル用型枠	φ 600	組	1	1	1
凍結工法	φ 200 DCIP用	基	2	2	2

切 管 調 書

▽は切断位置を示す

長 さ (m)					切口数	管種	使用数量
受口切管	両口・挿口切管	切管計	残管	計			
		-	-	5000	-	DCIP-GX (φ 200)	36
		2000	3000	5000	2	DCIP-GX (φ 200)	1
		4000	1000	5000	3	DCIP-GX (φ 200)	1
		切管合計 6000	残管合計 4000		切断工合計 5	DCIP-GX (φ 200)	合計 38
長 さ (m)					切口数	管種	使用数量
受口切管	両口・挿口切管	切管計	残管	計			
		3000	1000	4000	2	DCIP-GX (φ 75)	1
		2000	2000	4000	2	DCIP-GX (φ 75)	1
		切管合計 5000	残管合計 3000		切断工合計 4		合計 2
		1000	3000	4000	1	HIVP (φ 75)	1
		切管合計 1000	残管合計 3000		切断工合計 1		合計 1

数量計算書

配水管布設工

2 布設費

布設費数量調書

名 称	形状寸法	単位	配水管更新	合計	設計数量
铸铁管吊込み据付（機械力）	φ 75 クレーン付トラック使用	m	5.00	5.00	5.0
铸铁管吊込み据付（機械力）	φ 100 クレーン付トラック使用	m	0.82	0.82	0.8
铸铁管吊込み据付（機械力）	φ 200 クレーン付トラック使用	m	191.33	191.33	191.3
GX形継手接合	φ 200 直管	口	38	38	38
GX形継手接合	φ 75 異形管	口	2	2	2
GX形継手接合	φ 100 異形管	口	2	2	2
GX形継手接合	φ 200 異形管	口	10	10	10
GX形継手接合	φ 75 G-LINKを用いた異形管	口	2	2	2
GX形継手接合	φ 200 G-LINKを用いた異形管	口	8	8	8
铸铁管切断	エンジンカッター使用 φ 75	口	4	4	4
铸铁管切断	エンジンカッター使用 φ 200	口	5	5	5
仕切弁設置	機械施工 铸铁製 縦型 φ 75	箇所	2	2	2
仕切弁設置	機械施工 铸铁製 縦型 φ 200	箇所	3	3	3
ねじ式弁篋設置工	A型1号 受枠30以上60Kg未満 蓋30Kg未満 底版を使用する	箇所	5	5	5

布設費数量調書					
消火栓ボックス設置工	円形4号 内寸600mm	箇所	1	1	1
消火栓設置工	機械施工 地下式 単口	箇所	1	1	1
管明示テープ DCIP	φ 75×4000	m	5.00	5.00	5.0
管明示テープ DCIP	φ 100×4000	m	0.82	0.82	0.8
管明示テープ DCIP	φ 200×5000	m	191.33	191.33	191.3
硬質塩化ビニル管据付	φ 75	m	2.07	2.07	2.1
硬質塩化ビニル管RR継手工	φ 75 離脱防止金具使用	口	2	2	2
硬質塩化ビニル管切断	φ 75	口	1	1	1
メカニカル継手工	φ 75	口	6	6	6
フランジ継手工	φ 75mm	口	2	2	2
管明示シート		m	197.15	197.15	197.2

数量計算書

配水管布設工

3 撤去費

撤去費数量調書

名 称	形状寸法	単位	配水管更新	合計	設計数量
既設管撤去切断工	DCIP φ 200	口	32	32	32
既設管撤去切断工	HIVP φ 75	口	2	2	2
铸铁製仕切弁撤去	機械施工 縦型 φ 75	基	2.0	2.0	2
铸铁製仕切弁撤去	機械施工 縦型 φ 200	基	1.0	1.0	1
消火栓撤去	機械施工 地下式 単口	箇所	1.0	1.0	1
ねじ式弁筐撤去工	A型1号 受枠30以上60Kg未満 蓋30Kg未満 底版を使用する	箇所	3	3	3
消火栓ボックス撤去工	角形1号 内径500x400mm	箇所	1	1	1
撤去管吊上げ積み込み工	機械施工 呼び径200mm クレーン付トラック4t積2.9t吊	m	184.33	184.33	184.3

数量計算書

配水管布設工

4 土工費

土工費数量調査													
名 称	形状寸法	単位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計	設計数量
			町道部①	交差点部	町道部③	町道部⑤	町道部⑥	町道部⑦	凍結	再掘削部	給水 仮設		
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	21. 51	32. 89	343. 60	15. 72	3. 72	2. 44	5. 00			424. 88	425
バックホによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホ クローラ山積0. 28m3	m2	9. 18	14. 24	102. 90	4. 72	1. 12	0. 73	2. 00	3. 90		138. 79	139
バックホ掘削積込	クローラ型 山積0. 28m3(平積0. 2)	m3	13. 10	19. 61	134. 46	4. 92	1. 16	0. 98	2. 00	4. 17		178. 80	179
管路埋戻費（機械埋戻 バックホ） 砂(埋め戻し用)	クローラ型 山積0. 28m3 埋戻し＋締固め	m3	5. 30	8. 22	57. 28	2. 27	0. 53	0. 35	1. 26	1. 77		76. 98	77
管路埋戻費（機械埋戻 バックホ） 発生土	クローラ型 山積0. 28m3 埋戻し＋締固め	m3	4. 31	7. 97	40. 99	0. 8	0. 19	0. 34	1. 24	0. 66		56. 50	57
路盤工（施工幅1. 8m未満） 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC40-0 タンパ	m2	9. 18		102. 90	4. 72	1. 12	0. 73	2. 00	3. 90		124. 55	125
路盤工（施工幅1. 8m未満） 上層路盤 全仕上り厚15cm	RM40-0 タンパ	m2	9. 18		102. 90	4. 72	1. 12	0. 73	2. 00	3. 90		124. 55	125
路盤工（施工幅1. 8m未満） 下層路盤 全仕上り厚14cm	RC40-0 タンパ	m2		14. 24								14. 24	14
路盤工（施工幅1. 8m未満） 上層路盤 全仕上り厚10cm	RM40-0 タンパ	m2		14. 24								14. 24	14
アスファルト舗装工（人力） 舗装厚5cm	再生粗粒度アスコン（20） プライムコート	m2		14. 24								14. 24	14
アスファルト舗装工（人力） 舗装厚5cm	再生密粒度アスコン（13） タックコート	m2		14. 24								14. 24	14
アスファルト舗装工（人力） 舗装厚5cm	再生密粒度アスコン（13） プライムコート	m2	9. 18		102. 90	4. 72	1. 12	0. 73	2. 00	3. 90		124. 55	125
発生土運搬	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0. 28m ³ L=10. 0m	m3	8. 79	11. 64	93. 47	4. 12	0. 97	0. 64	2. 02	3. 51		125. 16	125
発生土処分		m3	8. 79	11. 64	93. 47	4. 12	0. 97	0. 64	2. 02	3. 51		125. 16	125
アスファルト境 運搬費 現場～処分場	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0. 28m ³ L=10. 0m	m3	0. 46	1. 42	5. 15	0. 24	0. 06	0. 04	0. 10	0. 20		7. 67	8
廃材持込料 As廃材	東松山県土整備事務所	t	1. 08	3. 34	12. 10	0. 56	0. 14	0. 09	0. 24	0. 47		18. 02	18
アスファルト切断濁水処分費	中間処理後、最終処分場に搬入 (処理に焼却又は溶解を含まず)	m3	0. 028	0. 079	0. 447	0. 02	0. 005	0. 003	0. 007			0. 589	0. 59
アスファルト切断濁水運搬	積載量 2t 運搬距離 25. 0kmまで	t 台	0. 034	0. 095	0. 536	0. 024	0. 006	0. 004	0. 008		0. 274	0. 981 1. 0	1
軽量鋼矢板賃料 配水管布設・仮設布設・仮設撤去含む	掘削深2. 0m以下 バックホ 山積0. 28m3〔平積0. 2m3〕	m	20. 62	32. 00					4. 00		34. 96	91. 58	92
軽量鋼矢板賃料 配水管布設・仮設布設・仮設撤去含む	10日 標準作業 3回使用	t	0. 18	0. 18					0. 18		0. 90	1. 44	1. 44
軽量金属製支保材設置・撤去 配水管布設・仮設布設・仮設撤去含む	水圧式パイプサポート 1段 (2. 0m以下)	m	10. 31	16. 00					2. 00		17. 48	45. 79	46
支保材賃料 配水管布設・仮設布設・仮設撤去含む	1段 持込み長2m 10日供用	式										1. 00	1
人力掘削	土砂, 現場制約あり	m3							1. 26			1. 26	1

1書調量數費工土

略 図				名 称		形状寸法		単位	数量	計 算 式								
補助単独	舗装区分	土工計算方法		備考														
－	町道部①	掘削断面×総延長		DCIP φ 200		舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	21. 51	$\frac{m}{0.890} \times \frac{m}{1} + \frac{m}{10.31} \times \frac{m}{2}$								
掘削 埋戻し 舗装版取壊 再生密粒度AS 再生粒調碎石 RM40-0 再生切込碎石 RC40-0 機械掘削 発生土 埋戻し用砂 5-0 50 150 230 470 300 220 100 620 1520 1470 890						バックホいによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホい クローラ山積0.28m3	m2	9. 18	$\frac{m}{0.890} \times \frac{m}{10.31}$								
						バックホい掘削積込	クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	m3	13. 10	$\frac{m}{(0.890 \times \frac{m}{1} + 1.470 \times \frac{m}{2} - 0.038 \times \frac{m}{10.31})}$								
						管路埋戻費（機械埋戻 バックホい） 砂(埋め戻し用)	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し＋締固め	m3	5. 30	$\frac{m}{(0.890 \times \frac{m}{1} + 0.620 \times \frac{m^2}{2} - 0.038 \times \frac{m^2}{10.31})}$								
						管路埋戻費（機械埋戻 バックホい） 発生土	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し＋締固め	m3	4. 31	$\frac{m}{(0.890 \times \frac{m}{1} + 0.470 \times \frac{m}{10.31})}$								
						路盤工（施工幅1.8m未満） 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC40-0 タンパ	m2	9. 18	$\frac{m}{0.890 \times \frac{m}{10.31}}$								
						路盤工（施工幅1.8m未満） 上層路盤 全仕上り厚15cm	RM40-0 タンパ	m2	9. 18	$\frac{m}{0.890 \times \frac{m}{10.31}}$								
						アスファルト舗装工（人力） 舗装厚5cm	再生密粒度アスコン（13） プライムコート	m2	9. 18	$\frac{m}{0.890 \times \frac{m}{10.31}}$								
						平均管径と総延長の計算						発生土運搬	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m3	8. 79	$\frac{m^3}{13.10} - \frac{m^3}{4.31}$		
						箇所		管種	径	延長	余堀り	計上分	備考					
						H=1200 町道部①		DCIP	220	7.26	0.5	7.76						
H=1200 町道部④		DCIP	220	2.05	0.5	2.55	発生土処分	m3	8. 79									
アスファルト塊・コンクリート塊（無筋） 運搬費 現場～処分場						ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m3	0. 46	$\frac{m}{0.890} \times \frac{m}{0.050} \times \frac{m}{10.31}$									
廃材持込料 As廃材						東松山県土整備事務所	t	1. 08	$\frac{m^3}{0.46} \times \frac{t}{m^3}{2.35}$									
アスファルト切断濁水処分費 （処理に焼却又は溶解を含ます）						中間処理後、最終処分場に搬入 （処理に焼却又は溶解を含ます）	m3	0. 028	$\frac{m}{0.130 \div 100 \times 21.51}$									
アスファルト切断濁水運搬						積載量 2t 運搬距離 25.0kmまで	t	0. 034	$\frac{t}{m^3}{0.028 \times \frac{1.200}{= 0.034}}$									

土工費数量調書 1 - 2

略図				名 称		形状寸法		単位	数量	計 算 式	
補助単独	舗装区分	土工計算方法		備考							
—	町道部①	掘削断面×総延長		DCIP φ 200		軽量鋼矢板たて込み・引抜き工 (両側分) (機械施工)	掘削深2.0m以下 バックホ 山積0.28m3〔平積0.2m3〕	m	20.62	延長 10.31 m × 2.00 枚	
掘削 埋戻し 舗装版取壊 再生密粒度AS 再生粒調碎石 RM40-0 再生切込碎石 RC40-0 機械掘削 発生土 埋戻し用砂 5-0 9 50 150 230 470 300 220 100 620 1520 1470 890											
						軽量鋼矢板賃料		6日 標準作業 3回使用	t	0.18	t/m × 6.00 m
						軽量金属製支保材設置・撤去		水圧式パイプジャッキ 1段 (2.0m以下)	m	10.31	10.31 m × 1.00 段
						支保材賃料		1段 持込み長2m 6日供用	式	1.00	
平均管径と総延長の計算											
箇所		管種	径	延長	余堀り	計上分	備考				
H=1200 町道部①		DCIP	220	7.76		7.76					
H=1200 町道部④		DCIP	220	2.55		2.55					
							</				

土工費数量調書2

略 図						名 称		形状寸法	単位	数量	計 算 式			
補助単独	舗装区分	土工計算方法			備考									
—	交差点部	掘削断面×総延長			DCIP φ 200	舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	32.89	$0.890 \times 1 + 16.00 \times 2$				
掘削 埋戻し 舗装版取壊 再生密粒度AS 再生粗粒度AS (20) 再生粒調砕石 RM40-0 再生切込砕石 RC40-0 発生土 埋戻し用砂 5-0 機械掘削 100 1420 50 50 100 140 560 300 220 100 620 1520 890						バックホイによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホイ クローラ山積0.28m ³	m ²	14.24	0.890×16.00				
						バックホイ掘削積込	クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2)	m ³	19.61	$(0.890 \times 1.420 - 0.038) \times 16.00$				
						管路埋戻費（機械埋戻 バックホイ） 砂(埋め戻し用)	クローラ型 山積0.28m ³ 埋戻し+締固め	m ³	8.22	$0.890 \times 0.620 - 0.038 \times 16.00$				
						管路埋戻費（機械埋戻 バックホイ） 発生土	クローラ型 山積0.28m ³ 埋戻し+締固め	m ³	7.97	$0.890 \times 0.560 \times 16.00$				
						路盤工（施工幅1.8m未満） 下層路盤 全仕上り厚14cm	RC40-0 タンバ	m ²	14.24	0.890×16.00				
						路盤工（施工幅1.8m未満） 上層路盤 全仕上り厚10cm	RM40-0 タンバ	m ²	14.24	0.890×16.00				
						アスファルト舗装工（人力） 舗装厚5cm	再生粗粒度アスコン（20） プライムコート	m ²	14.24	0.890×16.00				
						アスファルト舗装工（人力） 舗装厚5cm	再生密粒度アスコン（13） タックコート	m ²	14.24	0.890×16.00				
						発生土運搬	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m ³	11.64	$19.61 - 7.97$				
						発生土処分		m ³	11.64					
						アスファルト塊・コンクリート塊（無筋） 運搬費 現場～処分場	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m ³	1.42	$0.890 \times 0.100 \times 16.00$				
						廃材持込料 As廃材	東松山県土整備事務所	t	3.34	1.42×2.35				
						アスファルト切断濁水処分費	中間処理後、最終処分場に搬入 （処理に焼却又は溶解を含まず）	m ³	0.079	$0.240 \div 100 \times 32.89$				
						アスファルト切断濁水運搬	積載量 2t 運搬距離 25.0kmまで	t	0.095	$0.079 \times 1.200 = 0.095$				

土工費数量調書2-2

略 図				名 称	形状寸法	単位	数量	計 算 式	
補助単独	舗装区分	土工計算方法	備考						
—	交差点部	掘削断面×総延長	DCIP φ 200	軽量鋼矢板たて込み・引抜き工 (両側分) (機械施工)	掘削深2.0m以下 バックホウ 山積0.28m3[平積0.2m3]	m	32.00	延長 m × 枚	16.00 × 2.00
掘削 埋戻し				軽量鋼矢板賃料	6日 標準作業 3回使用	t	0.18	t/m × m	0.0295 × 6.00
				軽量金属製支保材設置・撤去	水圧式パイプシート 1段 (2.0m以下)	m	16.00	m × 段	16.00 × 1.00
				支保材賃料	1段 持込み長2m 6日供用	式	1.00		
平均管径と総延長の計算									
箇所	管種	径	延長	余堀り	計上分	備考			
H=1200 交差点部	DCIP	220	16.00		16.00				
		径							
		220	総延長		16.00				

土工費数量調書3

略 図				名 称		形状寸法		単位	数量	計 算 式		
補助単独	舗装区分	土工計算方法		備考								
—	町道部③	掘削断面×総延長		DCIP φ 200		舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	343.60	$0.600 \times 1 + 171.50 \times 2$		
掘削 埋戻し 2 1370 舗装版取壊 再生密粒度AS 再生粒調砕石 RM40-0 再生切込砕石 RC40-0 発生土 埋戻し用砂 5-0 発生土 機械掘削 50 150 230 170 300 220 100 200 620 1420 600												
						バックホーによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホー クローラ山積0.28m3	m2	102.90	0.600×171.50		
						バックホー掘削積込	クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	m3	134.46	$(0.600 \times 1.370 - 0.038) \times 171.50$		
						管路埋戻費(機械埋戻 バックホー) 砂(埋め戻し用)	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	m3	57.28	$0.60 \times 0.620 - 0.038 \times 171.50$		
						管路埋戻費(機械埋戻 バックホー) 発生土	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	m3	40.99	$(0.600 \times 0.200 \times 171.50) + (0.700 \times 0.170 \times 171.50)$		
						路盤工(施工幅1.8m未満) 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC40-0 タンバ	m2	102.90	0.600×171.50		
						路盤工(施工幅1.8m未満) 上層路盤 全仕上り厚15cm	RM40-0 タンバ	m2	102.90	0.600×171.50		
						アスファルト舗装工(人力) 舗装厚5cm	再生密粒度アスコン(13) プライムコート	m2	102.90	0.600×171.50		
						発生土運搬	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m3	93.47	$134.46 - 40.99$		
						発生土処分		m3	93.47			
						アスファルト塊・コンクリート塊(無筋) 運搬費 現場～処分場	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m3	5.15	$0.600 \times 0.050 \times 171.50$		
						廃材持込料 As廃材	東松山県土整備事務所	t	12.10	5.15×2.35		
						アスファルト切断濁水処分費	中間処理後、最終処分場に搬入 (処理に焼却又は溶解を含みます)	m3	0.447	$0.130 \div 100 \times 343.60$		
							径 220	総延長	171.50			
		アスファルト切断濁水運搬	積載量 2t 運搬距離 25.0kmまで	t	0.536	$0.447 \times 1.200 = 0.536$						

土工費数量調査4

略 図										名 称	形状寸法	単位	数量	計 算 式		
補助単独	舗装区分	土工計算方法				備考										
—	町道部⑤	掘削断面×総延長				DCIP φ 75		舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	15.72	$7.86^m \times 2$	箇所			
掘削埋戻し 舗装版取壊 再生密粒度AS 再生粒調砕石 RM40-0 再生切込砕石 RC40-0 発生土 埋戻し用砂 5-0 機械掘削 1043 50 150 230 170 300 93 100 493 1093 600																
								バックホりによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホり クローラ山積0.28m3	m2	4.72	$0.60^m \times 7.86^m$				
								バックホり掘削積込	クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	m3	4.92	$0.60^m \times 1.043^m \times 7.86^m$				
								管路埋戻費(機械埋戻 バックホり) 砂(埋め戻し用)	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	m3	2.27	$0.60^m \times 0.493^m - 0.007^{m^2} \times 7.86^m$				
								管路埋戻費(機械埋戻 バックホり) 発生土	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	m3	0.80	$0.60^m \times 0.170^m \times 7.86^m$				
								路盤工(施工幅1.8m未満) 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC40-0 タンパ	m2	4.72	$0.60^m \times 7.86^m$				
								路盤工(施工幅1.8m未満) 上層路盤 全仕上り厚15cm	RM40-0 タンパ	m2	4.72	$0.60^m \times 7.86^m$				
								アスファルト舗装工(人力) 舗装厚5cm	再生密粒度アスコン(13) プライムコート	m2	4.72	$0.60^m \times 7.86^m$				
								発生土運搬	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m3	4.12	$4.92^{m^3} - 0.80^{m^3}$				
								発生土処分		m3	4.12					
								アスファルト塊・コンクリート塊(無筋) 運搬費 現場〜処分場	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m3	0.24	$0.60^m \times 0.050^m \times 7.86^m$				
								廃材持込料 As廃材	東松山県土整備事務所	t	0.56	$0.24^{m^3} \times 2.35^{t/m^3}$				
								アスファルト切断濁水処分費	中間処理後、最終処分場に搬入 (処理に焼却又は溶解を含まず)	m3	0.020	$0.130 \div 100 \times 15.72^m$				
								アスファルト切断濁水運搬	積載量 2t 運搬距離 25.0kmまで	t	0.024	$0.020 \times 1.200^{t/m^3} = 0.024$				

土工費数量調書5

略		図		名 称		形状寸法		単位	数量	計 算 式			
補助単独	舗装区分	土工計算方法			備考								
—	町道部⑥	掘削断面×総延長			HIVP φ 75		舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	3. 72	$\frac{m}{1.86} \times \frac{m}{2}$		
掘削 埋戻し 舗装版取壊 再生密粒度AS 再生粒調砕石 RM40-0 再生切込砕石 RC40-0 発生土 埋戻し用砂 5-0 機械掘削 1039 50 150 230 170 300 89 100 489 1089 600							バックホリによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホリ クローラ山積0.28m ³	m ²	1. 12	$\frac{m}{0.60} \times \frac{m}{1.86}$		
							バックホリ掘削積込	クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2)	m ³	1. 16	$\frac{m}{0.60} \times \frac{m}{1.039} \times \frac{m}{1.86}$		
							管路埋戻費（機械埋戻 バックホリ） 砂(埋め戻し用)	クローラ型 山積0.28m ³ 埋戻し＋締固め	m ³	0. 53	$\frac{m}{0.60} \times \frac{m}{0.489} - \frac{m^2}{0.006}) \times \frac{m}{1.86}$		
							管路埋戻費（機械埋戻 バックホリ） 発生土	クローラ型 山積0.28m ³ 埋戻し＋締固め	m ³	0. 19	$\frac{m}{0.60} \times \frac{m}{0.170} \times \frac{m}{1.86}$		
							路盤工（施工幅1.8m未満） 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC40-0 タンバ	m ²	1. 12	$\frac{m}{0.60} \times \frac{m}{1.86}$		
							路盤工（施工幅1.8m未満） 上層路盤 全仕上り厚15cm	RM40-0 タンバ	m ²	1. 12	$\frac{m}{0.60} \times \frac{m}{1.86}$		
							アスファルト舗装工（人力） 舗装厚5cm	再生密粒度アスコン（13） プライムコート	m ²	1. 12	$\frac{m}{0.60} \times \frac{m}{1.86}$		
							発生土運搬	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m ³	0. 97	$\frac{m^3}{1.16} - \frac{m^3}{0.19}$		
							発生土処分		m ³	0. 97			
							廃材持込料 As廃材	東松山県土木整備事務所	t	0. 14	$\frac{m^3}{0.06} \times \frac{t/m^3}{2.350}$		
							アスファルト切断濁水処分費	中間処理後、最終処分場に搬入 （処理に焼却又は溶解を含みます）	m ³	0. 005	$\frac{m}{0.130} \div \frac{m}{100} \times \frac{m}{3.72}$		
							アスファルト切断濁水運搬	積載量 2t 運搬距離 25.0kmまで	t	0. 006	$\frac{t/m^3}{0.005} \times \frac{t/m^3}{1.200} = 0.006$		

土工費数量調査6

略 図				名 称		形状寸法		単位	数量	計 算 式		
補助単独	舗装区分	土工計算方法		備考								
—	町道部⑦	掘削断面×総延長		HIVP φ 75		舗装版切断		アスファルト舗装版 15cm以下	m	2.44	$\frac{m}{2}$ 箇所 2	
掘削 埋戻し 舗装版取壊 再生密粒度AS 再生粒調砕石 RM40-0 再生切込砕石 RC40-0 発生土 埋戻し用砂 5-0 1339 50 150 230 470 300 89 100 489 1389 600												
						バックホリによる舗装版 直接掘削・積込		舗装厚0cm超え10cm以下 バックホリ クローラ山積0.28m ³	m ²	0.73	$\frac{m}{2}$ × $\frac{m}{2}$	
						バックホリ掘削積込		クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2)	m ³	0.98	$\frac{m}{2}$ × $\frac{m}{2}$ × $\frac{m}{2}$	
						管路埋戻費 (機械埋戻 バックホリ) 砂(埋め戻し用)		クローラ型 山積0.28m ³ 埋戻し+締固め	m ³	0.35	$\frac{m}{2}$ × $\frac{m}{2}$ - $\frac{m^2}{2}$ × $\frac{m}{2}$	
						管路埋戻費 (機械埋戻 バックホリ) 発生土		クローラ型 山積0.28m ³ 埋戻し+締固め	m ³	0.34	$\frac{m}{2}$ × $\frac{m}{2}$ × $\frac{m}{2}$	
						路盤工 (施工幅1.8m未満) 下層路盤 全仕上り厚23cm		RC40-0 タンパ	m ²	0.73	$\frac{m}{2}$ × $\frac{m}{2}$	
						路盤工 (施工幅1.8m未満) 上層路盤 全仕上り厚15cm		RM40-0 タンパ	m ²	0.73	$\frac{m}{2}$ × $\frac{m}{2}$	
						アスファルト舗装工 (人力) 舗装厚5cm		再生密粒度アスコン (13) プライムコート	m ²	0.73	$\frac{m}{2}$ × $\frac{m}{2}$	
						発生土運搬		ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m ³	0.64	$\frac{m^3}{2}$ - $\frac{m^3}{2}$	
						発生土処分			m ³	0.64		
						アスファルト塊・コンクリート塊 (無筋) 運搬費 現場〜処分場		ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m ³	0.04	$\frac{m}{2}$ × $\frac{m}{2}$ × $\frac{m}{2}$	
						廃材持込料 As廃材		東松山県土整備事務所	t	0.09	$\frac{m^3}{2}$ × $\frac{t}{m^3}$	
						アスファルト切断濁水処分費		中間処理後、最終処分場に搬入 (処理に焼却又は溶解を含まず)	m ³	0.003	$\frac{m}{2}$ ÷ 100 × $\frac{m}{2}$	
						アスファルト切断濁水運搬		積載量 2t 運搬距離 25.0kmまで	t	0.004	$\frac{t}{m^3}$ × $\frac{t}{m^3}$ = 0.004	

土工費数量調書7

土工費数量調書7									
略 図				名 称	形状寸法	単位	数量	計 算 式	
補助単独	舗装区分	土工計算方法		備考					
－	凍結工法部	掘削断面×総延長		DCIP φ 200	舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	5. 00	$1.00 \times \text{箇所 } 1 + 2.00 \times \text{箇所 } 2$
掘削 埋戻し 50 1000 670 舗装版取壊 再生密粒度AS 再生粒調碎石 RM40-0 機械掘削 再生切込碎石 RC40-0 発生土 埋戻し用砂 5-0 人力掘削 50 150 230 620 300 220 150 670 1720 1000									
					バックホイによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホイ クローラ山積0.28m3	m2	2. 00	1.00×2.00
					バックホイ掘削積込	クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	m3	2. 00	$1.00 \times 1.000 \times 2.00$
					管路埋戻費 (機械埋戻 バックホイ) 砂(埋め戻し用)	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	m3	1. 26	$1.00 \times 0.670 - 0.038 \times 2.00$
					管路埋戻費 (機械埋戻 バックホイ) 発生土	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	m3	1. 24	$1.00 \times 0.620 \times 2.00$
					路盤工 (施工幅1.8m未満) 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC40-0 タンパ	m2	2. 00	1.00×2.00
					路盤工 (施工幅1.8m未満) 上層路盤 全仕上り厚15cm	RM40-0 タンパ	m2	2. 00	1.00×2.00
			</						

土工費数量調査8

略 図							名 称	形状寸法	単位	数量	計 算 式			
補助単独	舗装区分	土工計算方法			備考									
—	再掘削部	掘削断面×総延長			DCIP φ 200		バックホリによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホリ クローラ山積0.28m3	m2	3.90	$\frac{m}{m} \times \frac{m}{m}$			
掘削 埋戻し 50 1070 50 舗装版取壊 再生密粒度AS 再生粒調砕石 RM40-0 再生切込砕石 RC40-0 発生土 埋戻し用砂 5-0 50 150 230 170 300 220 520 1120 600														
							バックホリ掘削積込	クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	m3	4.17	$\frac{m}{m} \times \frac{m}{m} \times \frac{m}{m}$			
							管路埋戻費（機械埋戻 バックホリ） 砂(埋め戻し用)	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し＋締固め	m3	1.77	$\frac{m}{m} \times \frac{m}{m} \times \frac{m^2}{m} \times \frac{m}{m}$			
							管路埋戻費（機械埋戻 バックホリ） 発生土	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し＋締固め	m3	0.66	$\frac{m}{m} \times \frac{m}{m} \times \frac{m}{m}$			
							路盤工（施工幅1.8m未満） 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC40-0 タンバ	m2	3.90	$\frac{m}{m} \times \frac{m}{m}$			
							路盤工（施工幅1.8m未満） 上層路盤 全仕上り厚15cm	RM40-0 タンバ	m2	3.90	$\frac{m}{m} \times \frac{m}{m}$			
							アスファルト舗装工（人力） 舗装厚5cm	再生密粒度アスコン（13） プライムコート	m2	3.90	$\frac{m}{m} \times \frac{m}{m}$			
							発生土運搬	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m3	3.51	$\frac{m^3}{m} - \frac{m^3}{m}$			
							発生土処分		m3	3.51				
							平均管径と総延長の計算							
箇所	管種	径	延長	余堀り	計上分	備考								
H=900 再掘削部	DCIP	220	6.50		6.50									
							アスファルト塊・コンクリート塊（無筋） 運搬費 現場～処分場	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m3	0.20	$\frac{m}{m} \times \frac{m}{m} \times \frac{m}{m}$			
DCIP φ 200 布設延長 L=184.33m							廃材持込料 As廃材	東松山県土整備事務所	t	0.47	$\frac{m^3}{m} \times \frac{t}{m^3}$			
再掘削箇所 N=5箇所														
1箇所あたり L=1.30m														
再掘削延長 L=6.50m														
DCIP φ 200＝係数40.0(m/日)														
		径												
		220		総延長	6.50									

最も延長の長いDP＝900の
組成を対象とし、布設延長は
DP＝1200の延長を含めたも
のである。

数量計算書

仮設工

1 材料費

材料費数量調書

名 称	形状寸法	単位	配水管更新	合計	設計数量
レンタル管 直管	50A L=0.5m	本	1	1	1
レンタル管 直管	50A L=2.0m	本	2	2	2
レンタル管 直管	50A L=4.0m	本	1	1	1
レンタル管 直管	80A L=1.0m	本	2	2	2
レンタル管 直管	80A L=2.0m	本	2	2	2
レンタル管 直管	150A L=0.5m	本	3	3	3
レンタル管 直管	150A L=1.0m	本	4	4	4
レンタル管 直管	150A L=2.0m	本	4	4	4
レンタル管 直管	150A L=4.0m	本	36	36	36
レンタル管 フレキ管	50A L=1.0m	本	1	1	1
レンタル管 フレキ管	80A L=1.0m	本	4	4	4
レンタル管 フレキ管	150A L=1.6m	本	8	8	8
レンタル管 レジャーサー	150A×80A	個	1	1	1
レンタル管 エルボ	50A 90°	個	2	2	2

名 称	形状寸法	単位	配水管更新	合計	設計数量
レンタル管 エルボ	80A 90°	個	2	2	2
レンタル管 エルボ	150A 90°	個	14	14	14
レンタル管 チーズ	150A×50A	個	1	1	1
レンタル管 チーズ	150A×80A	個	2	2	2
レンタル管 チーズ	150A×150A	個	1	1	1
レンタル管 消火栓	露出用	基	1	1	1
レンタル管 バルブ	80A	個	2	2	2
レンタル管 バルブ	150A	個	1	1	1
レンタル管 マルチジョイント	80A	個	2	2	2
レンタル管 取出短管	50A×20A	個	3	3	3
レンタル管 取出短管	150A×20A	個	5	5	5
レンタル接続短管 フランジ	150A	個	2	2	2
レンタル接続短管 挿し×挿し	150A	個	1	1	1
レンタル接続短管 挿し×挿し	50A	個	1	1	1
レンタル接続短管 受け×受け	150A	個	2	2	2

名 称	形状寸法	単位	配水管更新	合計	設計数量
レンタル接続短管 受け×受け	80A	個	1	1	1
レンタル管 給水ホース	20A L=1.5m	本	2	2	2
レンタル管 給水ホース	20A L=3.0m	本	6	6	6
HIVP	φ 20 L=4.0m	本	32.0m 8	8	8
HIソケット	φ 20	個	6	6	6
HIエルボ	φ 20	個	4	4	4
フランジパッキン	φ 150	枚	2	2	2
フランジボルトナット	SUS304 M16×75 被膜処理加工	本	12	12	12
ステンレス座金	M16 SUS304	枚	24	24	24
メーターエルボ	3回使用 φ 20 エオン・テーパーめねじ	個	3	3	3
水道用耐衝撃性塩ビ管継手 HI 給水栓ソケット	φ 20	個	6	6	6
レンタル接続短管 キャップ	50A	個	1	1	1
不断水割 T 字管	φ 200×150 DCIP用 仕切弁付	基	2	2	2
HIバルブソケット	φ 20	個	1	1	1

数量計算書

仮設工

2 布設費

布設費数量調書					
名 称	形状寸法	単位	配水管更新	合計	設計数量
レンタル管 ステンレス鋼管据付（人力）	50A	m	10.2	10.2	10.2
レンタル管 ステンレス鋼管据付（人力）	80A	m	10.8	10.8	10.8
レンタル管 ステンレス鋼管据付（人力）	150A	m	180.5	180.5	180.5
レンタル管 継手工	50A	口	12	12	12
レンタル管 継手工	80A	口	15	15	15
レンタル管 継手工	150A	口	85	85	85
レンタル管 取出し短管設置工	50A	基	3	3	3
レンタル管 取出し短管設置工	150A	基	5	5	5
レンタル管 仮設バルブ設置工	80A	基	2	2	2
レンタル管 仮設バルブ設置工	150A	基	1	1	1
レンタル管 仮設消火栓設置工	消火栓（単口）	基	1	1	1
レンタル管 給水ホース布設工	20A L=1.5m, L=3.0m	本	8	8	8

レンタル管 マルチジョイント継手工	80A	口	2	2	2
仮設硬質塩化ビニル管設置工	呼び径20mm	m	32	32	32
硬質塩化ビニル管切断工	呼び径20mm	口	3	3	3
仮設硬質塩化ビニル管TS継手設置工	呼び径20mm	口	27	27	27
仮設小口径鋼管ねじ込み接合設置工	呼び径20mm	口	20	20	20
フランジ継手	φ 150mm	口	2	2	2
不断水連絡工	DCIP φ 200×150	箇所	2	2	2

数量計算書

仮設工

3 撤去費

撤去費数量調書

	形状寸法	単位	配水管更新	合計	設計数量
レンタル管 ステンレス鋼管撤去工（人力）	直管、フレキ管 50A	m	10.2	10.2	10.2
レンタル管 ステンレス鋼管撤去工（人力）	直管、フレキ管 80A	m	10.8	10.8	10.8
レンタル管 ステンレス鋼管撤去工（人力）	直管、フレキ管 150A	m	180.5	180.5	180.5
レンタル管 継手取外し工	50A	口	12	12	12
レンタル管 継手取外し工	80A	口	15	15	15
レンタル管 継手取外し工	150A	口	85	85	85
レンタル管 取出し短管撤去工	50A	基	3	3	3
レンタル管 取出し短管撤去工	150A	基	5	5	5
レンタル管 仮設バルブ撤去工	80A	基	2	2	2
レンタル管 仮設バルブ撤去工	150A	基	1	1	1
レンタル管 仮設消火栓撤去工	消火栓（単口）	基	1	1	1
レンタル管 給水ホース撤去工	20A L=1.5m, L=3.0m	本	8	8	8
レンタル管 マルチジョイント継手取外し工	80A	口	2	2	2

撤去費数量調書

	形状寸法	単位	配水管更新	合計	設計数量
仮設硬質塩化ビニル管撤去工	呼び径20mm	m	32	32	32
仮設小口径管ねじ込み接合工撤去工	呼び径20mm	口	20	20	20

数量計算書

仮設工

4 土工費

1 布設

土工費数量調書

土工費数量調査																			
名 称	形状寸法	単位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	合計	設計数量
			不断水 ①	町道部 ②	砂利部 ③	交差点 部	町道部 ④	町道部 ⑤	町道部 ⑥	町道部 ⑦	町道部 ⑧	砂利部 ⑨	町道部 ⑩	町道部⑪	町道部⑫	不断水 ⑭	民地⑮		
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	3.64	2.88		32.30	20.30	44.66	9.34	1.26	19.56		6.02	1.22	14.99	3.64		159.81	160
ハック材による舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 ハック材の ケーラ山積0.28m3	m2	1.46	1.28		9.33	5.73	13.04	2.80	0.38	5.87		1.81	0.37	6.27	1.46		49.80	50
ハック材掘削積込	クロー型 山積0.28m3(平積0.2)	m3	1.39	1.94	3.76	7.60	4.67	9.97	3.75	0.32	3.88	0.46	1.88	0.20	10.13	1.54	0.95	52.44	52
管路埋戻費（機械埋戻 ハック材） 砂（埋め戻し用）	クロー型 山積0.28m3 埋戻し＋締固め	m3	1.15	0.69	1.96	4.57	2.29	4.56	1.34	0.18	1.62	0.27	0.87	0.18	3.40	1.15	2.67	26.90	27
管路埋戻費（機械埋戻 ハック材） 発土土	クロー型 山積0.28m3 埋戻し＋締固め	m3	0.83	0.73	1.67				1.32	0.18		0.18	0.31	0.06	4.20	0.98	0.95	11.41	11
路盤工（施工幅1.8m未満） 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC40-0 タンバ	m2	1.46	1.28			5.73	13.04	2.80	0.38	5.87		1.81	0.37	6.27	1.46		40.47	40
路盤工（施工幅1.8m未満） 上層路盤 全仕上り厚17cm	RM40-0 タンバ	m2	1.46	1.28			5.73	13.04	2.80	0.38	5.87		1.81	0.37	6.27	1.46		40.47	40
路盤工（施工幅1.8m未満） 下層路盤 全仕上り厚14cm	RC40-0 タンバ	m2				9.33											9.33	9	
路盤工（施工幅1.8m未満） 上層路盤 全仕上り厚15cm	RM40-0 タンバ	m2				9.33											9.33	9	
アスファルト舗装工（人力） 舗装厚3cm	再生密粒度アコン（13） 瀝青材散布なし	m2	1.46	1.28			5.73	13.04	2.80	0.38	5.87		1.81	0.37	6.27	1.46		40.47	40
アスファルト舗装工（人力） 舗装厚5cm	再生密粒度アコン（13） 瀝青材散布なし	m2				9.33											9.33	9	
発土土運搬	ダンプトラック4 t 積級 ケーラ山積0.28㎡ L=10.0m	m3	1.71	1.21	0.29	7.60	4.67	9.97	2.43	0.32	3.88	0.28	1.57	0.32	5.93	1.71	2.67	44.56	45
発土土処分		m3	1.71	1.21	0.29	7.60	4.67	9.97	2.43	0.32	3.88	0.28	1.57	0.32	5.93	1.71	2.67	44.56	45
アスファルト塊 運搬費 現場～処分場	ダンプトラック4 t 積級 ケーラ山積0.28㎡ L=10.0m	m3	0.07	0.06		0.47	0.29	0.65	0.14	0.02	0.29		0.09	0.02	0.31	0.07		2.48	2
廢材持込料 As廢材	東松山県土木整備事務所	t	0.16	0.14		1.10	0.68	1.53	0.33	0.05	0.68		0.21	0.05	0.73	0.16		5.82	6
アスファルト切断濁水処分費	中間処理後、最終処分場に搬入 （処理に使用又は消滅を含まず）	m3	0.005	0.004		0.042	0.026	0.058	0.012	0.002	0.025		0.008	0.002	0.019	0.005		0.208	0.21
アスファルト切断濁水運搬	積載量 2t 運搬距離 25.0kmまで	t 台	0.006	0.005		0.050	0.031	0.070	0.014	0.002	0.030		0.010	0.002	0.023	0.006		0.249 1.0	配水管布設 工へ計上
人力掘削	土砂、現場制約あり	m3	1.15						0.18				0.18		1.15	2.67	5.33	5	
軽量鋼矢板たて込み・引抜き工 （両側分）（機械施工）	掘削深2.0m以下 ハック材 山積0.28m3(平積0.2m3)	m	2.44	2.88										14.10	2.44		21.86	配水管布設 工へ計上	
軽量鋼矢板賃料	2日 標準作業 3回使用	t	0.18	0.18										0.18	0.18		0.72	配水管布設 工へ計上	
軽量金属製支保材設置・撤去	水圧式ベイクアウト1段 （2.0m以下）	m	1.22	1.44										7.05	1.22		10.93	配水管布設 工へ計上	
支保材賃料	1段 持込み長2m 2日供用	式															1.00	配水管布設 工へ計上	

土工費数量調書 1

略 図				名 称		形状寸法		単位	数量	計 算 式				
補助単独	舗装区分	土工計算方法		備考										
—	不断水工部①	掘削断面×総延長		不断水		舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	3.64	$1.200 \times$	$\frac{\text{箇所1}}{1} +$	$1.22 \times$	$\frac{\text{箇所2}}{2}$	
掘削 埋戻し 舗装版取壊 再生密粒度AS 機械掘削 再生粒調碎石 RM40-0 再生切込碎石 RC40-0 発生土 埋戻し用砂 5-0 人力掘削 1200 950 820 1820 820						バックホiによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホi クローラ山積0.28m3	m2	1.46	$1.200 \times$	1.22			
						バックホi掘削積込	クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	m3	1.39	$1.200 \times$	$0.950 \times$	1.22		
						管路埋戻費 (機械埋戻 バックホi) 砂(埋め戻し用)	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	m3	1.15	$1.200 \times$	$0.820 -$	$0.038 \times$	1.22	
						管路埋戻費 (機械埋戻 バックホi) 発生土	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	m3	0.83	$1.200 \times$	$0.570 \times$	1.22		
						路盤工 (施工幅1.8m未満) 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC40-0 タンパ	m2	1.46	$1.200 \times$	1.22			
						路盤工 (施工幅1.8m未満) 上層路盤 全仕上り厚17cm	RM40-0 タンパ	m2	1.46	$1.200 \times$	1.22			
						アスファルト舗装工 (人力) 舗装厚3cm	再生密粒度アスコン (13) 瀝青材散布なし	m2	1.46	$1.200 \times$	1.22			
						発生土運搬	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m3	1.71	$1.39 +$	$1.15 -$	0.83		
						発生土処分		m3	1.71					
						人力掘削	土砂, 現場制約あり	m3	1.15	$0.820 \times$	$1.200 -$	$0.038 \times$	1.22	
						アスファルト塊・コンクリート塊 (無筋) 運搬費 現場～処分場	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m3	0.07	$1.200 \times$	$0.050 \times$	1.22		
						廃材持込料 As廃材	東松山県土整備事務所	t	0.16	$0.07 \times$	2.350			
						アスファルト切断濁水処分費	中間処理後、最終処分場に搬入 (処理に焼却又は溶融を含まず)	m3	0.005	$0.130 \div$	$100 \times$	3.64		
						アスファルト切断濁水運搬	積載量 2t 運搬距離 25.0kmまで	t	0.006	$0.005 \times$	$1.200 =$	0.006	※配水管布設工へ計上	

土工費数量調書1-2

土工費数量調査2

略 図				名 称		形状寸法		単位	数量	計 算 式			
補助単独	舗装区分	土工計算方法		備考									
—	町道部②	掘削断面×総延長		150A		舗装版切断		アスファルト舗装版 15cm以下	m	2.88	1.44×2		
掘削埋戻し 1515 舗装版取壊 再生密粒度AS 再生粒調砕石 RM40-0 再生切込砕石 RC40-0 機械掘削発生土 埋戻し用砂 5-0 890 30 170 230 570 300 165 100 565 1565						バックホりによる舗装版 直接掘削・積込		舗装厚0cm超え10cm以下 バックホり クローラ山積0.28m ³	m ²	1.28	0.890×1.44		
						バックホり掘削積込		クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2)	m ³	1.94	$0.890 \times 1.515 \times 1.44$		
						管路埋戻費 (機械埋戻 バックホり) 砂(埋め戻し用)		クローラ型 山積0.28m ³ 埋戻し+締固め	m ³	0.69	$0.890 \times 0.565 - 0.021 \times 1.44$		
						管路埋戻費 (機械埋戻 バックホり) 発生土		クローラ型 山積0.28m ³ 埋戻し+締固め	m ³	0.73	$0.890 \times 0.570 \times 1.44$		
						路盤工 (施工幅1.8m未満) 下層路盤 全仕上り厚23cm		RC40-0 タンパ	m ²	1.28	0.890×1.44		
						路盤工 (施工幅1.8m未満) 上層路盤 全仕上り厚17cm		RM40-0 タンパ	m ²	1.28	0.890×1.44		
						アスファルト舗装工 (人力) 舗装厚3cm		再生密粒度アスコン (13) 瀝青材散布なし	m ²	1.28	0.890×1.44		
						発生土運搬		ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m ³	1.21	$1.94 - 0.73$		
						発生土処分			m ³	1.21			
						アスファルト塊・コンクリート塊 (無筋) 運搬費 現場〜処分場		ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m ³	0.06	$0.890 \times 0.050 \times 1.44$		
						廃材持込料 As廃材		東松山県土整備事務所	t	0.14	0.06×2.350		
						アスファルト切断濁水処分費		中間処理後、最終処分場に搬入 (処理に焼却又は溶解を含まず)	m ³	0.004	$0.130 \div 100 \times 2.88$		
						アスファルト切断濁水運搬		積載量 2t 運搬距離 25.0kmまで	t	0.005	$0.004 \times 1.200 = 0.005$	※配水管布設工へ計上	

土工費数量調書2-2

略 図							名 称		形状寸法		単位	数量	計 算 式	
補助単独	舗装区分	土工計算方法			備考									
—	町道部②	掘削断面×総延長			150A		軽量鋼矢板たて込み・引抜き工 (両側分)(機械施工)	掘削深2.0m以下 バックホウ 山積0.28m3〔平積0.2m3〕	m	2.88	1.44×2.00	m	枚	
掘削 埋戻し 50 1515 舗装版取壊 再生密粒度AS 再生粒調碎石 RM40-0 再生切込碎石 RC40-0 発生土 埋戻し用砂 5-0 機械掘削 565 30 170 230 570 300 165 100 890														
							軽量鋼矢板賃料	2日 標準作業 3回使用	t	0.18	0.0295×6.00	t/m	m	
							軽量金属製支保材設置・撤去	水圧式パイプサポート 1段 (2.0m以下)	m	1.44	1.44×1.00	m	段	
							支保材賃料	1段 持込み長2m 2日供用	式	1.00				
							平均管径と総延長の計算							
箇所		管種	径	延長	余堀り	計上分	備考							
H=1300 町道部②		レンタル管	165.2	0.94	0.5	1.44								

土工費数量調書3

略 図				名 称	形状寸法	単位	数量	計 算 式		
補助単独	舗装区分	土工計算方法		備考						
－	砂利部③	掘削断面×総延長		150A	バックホリ掘削積込	クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	m3	3.76	$0.600^m \times 1.015^m \times 6.17^m$	
掘削 埋戻し 1015 機械掘削 発生土 埋戻し用砂 5-0 600 450 300 165 100 565 1015					管路埋戻費 (機械埋戻 バックホリ) 砂(埋め戻し用)	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	m3	1.96	$0.600^m \times 0.565^m - 0.021^{m^2} \times 6.17^m$	
					管路埋戻費 (機械埋戻 バックホリ) 発生土	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	m3	1.67	$0.600^m \times 0.450^m \times 6.17^m$	
					発生土運搬	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m3	0.29	$1.96^{m^3} - 1.67^{m^3}$	
					発生土処分		m3	0.29		
平均管径と総延長の計算										
箇所		管種	径	延長	余堀り	計上分	備考			
H=750 砂利部③		レンタル管	165.2	5.67	0.5	6.17				

土工費数量調書4

略 図				名 称		形状寸法		単位	数量	計 算 式			
補助単独	舗装区分	土工計算方法		備考									
—	交差点部	掘削断面×総延長		150A		舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	32.30	$\frac{0.60}{2} \times \frac{\text{箇所}}{2} + 15.55 \times \frac{\text{箇所}}{2}$			
掘削 埋戻し 舗装版取壊 再生密粒度AS 再生粒調碎石 RM40-0 再生切込碎石 RC40-0 機械掘削 埋戻し用砂 5-0 50 150 140 260 165 100 525 865 815 600						バックホリによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホリ クローラ山積0.28m ³	m ²	9.33	0.60×15.55			
						バックホリ掘削積込	クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2)	m ³	7.60	$0.60 \times 0.815 \times 15.55$			
						管路埋戻費 (機械埋戻 バックホリ) 砂(埋め戻し用)	クローラ型 山積0.28m ³ 埋戻し+締固め	m ³	4.57	$0.60 \times 0.525 - 0.021 \times 15.55$			
						路盤工 (施工幅1.8m未満) 下層路盤 全仕上り厚14cm	RC40-0 タンパ	m ²	9.33	0.60×15.55			
						路盤工 (施工幅1.8m未満) 上層路盤 全仕上り厚15cm	RM40-0 タンパ	m ²	9.33	0.60×15.55			
						アスファルト舗装工 (人力) 舗装厚5cm	再生密粒度アスコン (13) 瀝青材散布なし	m ²	9.33	0.60×15.55			
						発生土運搬	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m ³	7.60				
						発生土処分		m ³	7.60				
						運搬費 現場～処分場	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m ³	0.47	$0.60 \times 0.050 \times 15.55$			
						廃材持込料 As廃材	東松山県土整備事務所	t	1.10	0.47×2.350			
アスファルト切断濁水処分費	中間処理後、最終処分場に搬入 (処理に焼却又は溶融を含みます)	m ³	0.042	$0.130 \div 100 \times 32.30$									
	径 165	総延長	15.55	アスファルト切断濁水運搬	積載量 2t 運搬距離 25.0kmまで	t	0.050	$0.042 \times 1.200 = 0.050$	※配水管布設工へ計上				

土工費数量調書5

略 図							名 称	形状寸法	単位	数量	計 算 式				
補助単独	舗装区分	土工計算方法			備考										
－	町道部④	掘削断面×総延長			150A		舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	20.30	$\frac{0.60}{2} \times \frac{9.55}{2}$				
掘削 埋戻し 815 舗装版取壊 I 再生密粒度AS 再生粒調砕石 RM40-0 再生切込砕石 RC40-0 機械掘削 埋戻し用砂 5-0 600 30 170 230 170 165 100 435 865							バックホリによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホリ クローラ山積0.28m ³	m ²	5.73	$\frac{0.60}{2} \times \frac{9.55}{2}$				
							バックホリ掘削積込	クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2)	m ³	4.67	$\frac{0.60}{2} \times \frac{0.815}{2} \times \frac{9.55}{2}$				
							管路埋戻費 (機械埋戻 バックホリ) 砂(埋め戻し用)	クローラ型 山積0.28m ³ 埋戻し+締固め	m ³	2.29	$\frac{0.60}{2} \times \frac{0.435}{2} - \frac{0.021}{2} \times 9.55$				
							路盤工 (施工幅1.8m未満) 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC40-0 タンパ	m ²	5.73	$\frac{0.60}{2} \times \frac{9.55}{2}$				
							路盤工 (施工幅1.8m未満) 上層路盤 全仕上り厚17cm	RM40-0 タンパ	m ²	5.73	$\frac{0.60}{2} \times \frac{9.55}{2}$				
							アスファルト舗装工 (人力) 舗装厚3cm	再生密粒度アスコン (13) 瀝青材散布なし	m ²	5.73	$\frac{0.60}{2} \times \frac{9.55}{2}$				
							発生土運搬	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m ³	4.67					
							発生土処分		m ³	4.67					
							運搬費 現場～処分場	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m ³	0.29	$\frac{0.60}{2} \times \frac{0.050}{2} \times \frac{9.55}{2}$				
							廃材持込料 As廃材	東松山県土整備事務所	t	0.68	$\frac{0.29}{2} \times \frac{2.350}{2}$				
							アスファルト切断濁水処分費	中間処理後、最終処分場に搬入 (処理に焼却又は溶解を含まず)	m ³	0.026	$\frac{0.130}{100} \times \frac{20.30}{2}$				
							アスファルト切断濁水運搬	積載量 2t 運搬距離 25.0kmまで	t	0.031	$\frac{0.026}{2} \times \frac{1.200}{2} = 0.031$	※配水管布設工へ計上			

※配水管布設工へ計上

土工費数量調書6

略 図				名 称		形状寸法		単位	数量	計 算 式			
補助単独	舗装区分	土工計算方法		備考									
—	町道部⑤	掘削断面×総延長		150A		舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	44.66	$\frac{m}{2} \times$	箇所	$+ \frac{m}{2} \times$	箇所
掘削 埋戻し 舗装版取壊 再生密粒度AS 再生粒調砕石 RM40-0 再生切込砕石 RC40-0 埋戻し用砂 5-0 機械掘削 765 600 30 170 230 120 165 100 385 815						バックホリによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホリ クローラ山積0.28m3	m2	13.04	$\frac{m}{2} \times$	$\frac{m}{2}$		
						バックホリ掘削積込	クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	m3	9.97	$\frac{m}{2} \times$	$\frac{m}{2}$	$\times \frac{m}{2}$	
						管路埋戻費（機械埋戻 バックホリ）	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	m3	4.56	$\frac{m}{2} \times$	$\frac{m}{2}$	$- 0.021 \frac{m^2}{2} \times \frac{m}{2}$	
						路盤工（施工幅1.8m未満） 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC40-0 タンバ	m2	13.04	$\frac{m}{2} \times$	$\frac{m}{2}$		
						路盤工（施工幅1.8m未満） 上層路盤 全仕上り厚17cm	RM40-0 タンバ	m2	13.04	$\frac{m}{2} \times$	$\frac{m}{2}$		
						アスファルト舗装工（人力） 舗装厚3cm	再生密粒度アスコン（13） 瀝青材散布なし	m2	13.04	$\frac{m}{2} \times$	$\frac{m}{2}$		
						発生土運搬	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m3	9.97				
						発生土処分		m3	9.97				
						アスファルト塊・コンクリート塊（無筋） 運搬費 現場～処分場	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m3	0.65	$\frac{m}{2} \times$	$\frac{m}{2}$	$\times \frac{m}{2}$	
						廃材持込料 As廃材	東松山県土整備事務所	t	1.53	$\frac{m^3}{2} \times$	$\frac{t}{m^3}$		
						アスファルト切断濁水処分費	中間処理後、最終処分場に搬入 （処理に焼却又は溶解を含みます）	m3	0.058	$\frac{m^3}{100} \div$	$\frac{m}{2}$		
						アスファルト切断濁水運搬	積載量 2t 運搬距離 25.0kmまで	t	0.070	$\frac{t}{m^3} \times$	$\frac{t}{m^3}$	$=$	

※配水管布設工へ計上

土工費数量調書7

略 図							名 称	形状寸法	単位	数量	計 算 式			
補助単独	舗装区分	土工計算方法			備考									
—	町道部⑥	掘削断面×総延長			80A		舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	9.34	$\frac{4.67}{2} \times m$			
掘削埋戻し 舗装版取壊 再生密粒度AS 再生粒調砕石 RM40-0 再生切込砕石 RC40-0 機械掘削発生土 埋戻し用砂 5-0 1339 600 30 170 230 470 300 89 100 489 1389														
							バックホリによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホリ クローラ山積0.28m ³	m ²	2.80	$0.60 \times m \times 4.67$			
							バックホリ掘削積込	クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2)	m ³	3.75	$0.60 \times m \times 1.339 \times 4.67$			
							管路埋戻費（機械埋戻 バックホリ） 砂(埋め戻し用)	クローラ型 山積0.28m ³ 埋戻し+締固め	m ³	1.34	$0.60 \times m \times (0.489 - 0.006) \times 4.67$			
							管路埋戻費（機械埋戻 バックホリ） 発生土	クローラ型 山積0.28m ³ 埋戻し+締固め	m ³	1.32	$0.60 \times m \times 0.470 \times 4.67$			
							路盤工（施工幅1.8m未満） 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC40-0 タンパ	m ²	2.80	$0.60 \times m \times 4.67$			
							路盤工（施工幅1.8m未満） 上層路盤 全仕上り厚17cm	RM40-0 タンパ	m ²	2.80	$0.60 \times m \times 4.67$			
							アスファルト舗装工（人力） 舗装厚3cm	再生密粒度アスコン（13） 瀝青材散布なし	m ²	2.80	$0.60 \times m \times 4.67$			
							発生土運搬	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m ³	2.43	$3.75 - 1.32 \times m^3$			
							発生土処分		m ³	2.43				
							アスファルト塊・コンクリート塊（無筋） 運搬費 現場～処分場	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m ³	0.14	$0.60 \times m \times 0.050 \times 4.67$			
							廃材持込料 As廃材	東松山県土整備事務所	t	0.33	$0.14 \times \frac{t}{m^3} \times 2.350$			
							アスファルト切断濁水処分費	中間処理後、最終処分場に搬入 （処理に焼却又は溶解を含まず）	m ³	0.012	$0.130 \div 100 \times 9.34$			
							アスファルト切断濁水運搬	積載量 2t 運搬距離 25.0kmまで	t	0.014	$0.012 \times \frac{t}{m^3} = 0.014$	※配水管布設工へ計上		

土工費数量調書8

略 図		名 称		形状寸法		単位	数量	計 算 式		
補助単独	舗装区分	土工計算方法		備考						
—	町道部⑦	掘削断面×総延長		80A		舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	1.26	$0.63 \times \frac{1}{2}$
掘削 埋戻し 舗装版取壊 再生密粒度AS 再生粒調砕石 RM40-0 再生切込砕石 RC40-0 発生土 埋戻し用砂 5-0 人力掘削 30 170 230 470 300 89 100 1389 489 600										
						バックホリによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホリ クローラ山積0.28m ³	m ²	0.38	0.60×0.63
						バックホリ掘削積込	クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2)	m ³	0.32	$0.60 \times 0.850 \times 0.63$
						管路埋戻費 (機械埋戻 バックホリ) 砂(埋め戻し用)	クローラ型 山積0.28m ³ 埋戻し+締固め	m ³	0.18	$0.60 \times 0.489 - 0.006 \times 0.63$
						管路埋戻費 (機械埋戻 バックホリ) 発生土	クローラ型 山積0.28m ³ 埋戻し+締固め	m ³	0.18	$0.60 \times 0.470 \times 0.63$
						路盤工 (施工幅1.8m未満) 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC40-0 タンパ	m ²	0.38	0.60×0.63
						路盤工 (施工幅1.8m未満) 上層路盤 全仕上り厚17cm	RM40-0 タンパ	m ²	0.38	0.60×0.63
						アスファルト舗装工 (人力) 舗装厚3cm	再生密粒度アスコン (13) 瀝青材散布なし	m ²	0.38	0.60×0.63
						発生土運搬	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0km	m ³	0.32	$0.32 \times 0.18 + 0.18$
						発生土処分		m ³	0.32	
						人力掘削	土砂, 現場制約あり	m ³	0.18	$0.489 \times 0.600 - 0.006 \times 0.63$
						アスファルト塊・コンクリート塊 (無筋) 運搬費 現場～処分場	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0km	m ³	0.02	$0.60 \times 0.050 \times 0.63$
廃材持込料 As廃材	東松山県土整備事務所	t	0.05	0.02×2.350						
アスファルト切断濁水処分費	中間処理後、最終処分場に搬入 (処理に焼却又は溶解を含まず)	m ³	0.002	$0.130 \div 100 \times 1.26$						
	径 89	総延長	0.63	アスファルト切断濁水運搬	積載量 2t 運搬距離 25.0kmまで	t	0.002	$0.002 \times 1.200 = 0.002$	※配水管布設工へ計上	

土工費数量調査9

略 図										名 称		形状寸法		単位	数量	計 算 式			
補助単独	舗装区分	土工計算方法				備考													
—	町道部⑧	掘削断面×総延長				50A		舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	19.56	$9.78 \times \frac{m}{2}$							
掘削 埋戻し 舗装版取壊 再生密粒度AS 再生粒調碎石 RM40-0 再生切込碎石 RC40-0 埋戻し用砂 5-0 機械掘削 600 30 170 230 120 61 100 711 281								バックホリによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホリ クローラ山積0.28m3	m2	5.87	$0.60 \times \frac{m}{9.78}$							
								バックホリ掘削積込	クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	m3	3.88	$0.60 \times \frac{m}{0.661} \times \frac{m}{9.78}$							
								管路埋戻費(機械埋戻 バックホリ) 砂(埋め戻し用)	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	m3	1.62	$0.60 \times \frac{m}{0.281} - \frac{m^2}{0.003} \times \frac{m}{9.78}$							
								路盤工(施工幅1.8m未満) 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC40-0 タンパ	m2	5.87	$0.60 \times \frac{m}{9.78}$							
								路盤工(施工幅1.8m未満) 上層路盤 全仕上り厚17cm	RM40-0 タンパ	m2	5.87	$0.60 \times \frac{m}{9.78}$							
								アスファルト舗装工(人力) 舗装厚3cm	再生密粒度アスコン(13) 瀝青材散布なし	m2	5.87	$0.60 \times \frac{m}{9.78}$							
								発生土運搬	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m3	3.88								
								発生土処分		m3	3.88								
								アスファルト塊・コンクリート塊(無筋) 運搬費 現場〜処分場	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m3	0.29	$0.60 \times \frac{m}{0.050} \times \frac{m}{9.78}$							
								廃材持込料 As廃材	東松山県土整備事務所	t	0.68	$0.29 \times \frac{m^3}{2.350}$							
								アスファルト切断濁水処分費	中間処理後、最終処分場に搬入 (処理に焼却又は溶解を含まず)	m3	0.025	$0.130 \div 100 \times \frac{m}{19.56}$							
								アスファルト切断濁水運搬	積載量 2t 運搬距離 25.0kmまで	t	0.030	$0.025 \times \frac{t}{m^3} = 0.030$	※配水管布設工へ計上						

土工費数量調書10

略 図		名 称		形状寸法		単位		数量		計 算 式	
補助単独	舗装区分	土工計算方法		備考							
—	砂利部⑨	掘削断面×総延長		50A		バックホウ掘削積込		クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	m3	0.46	$0.60^m \times 0.761^m \times 1.00^m$
掘削 埋戻し 761 300 300 61 100 461 600						管路埋戻費（機械埋戻 バックホウ）		クローラ型 山積0.28m3 砂(埋め戻し用)	m3	0.27	$0.60^m \times 0.461^m - 0.003^{m^2} \times 1.00^m$
						管路埋戻費（機械埋戻 バックホウ）		クローラ型 山積0.28m3 発生土	m3	0.18	$0.60^m \times 0.300^m \times 1.00^m$
						発生土運搬		ダンプトラック4t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m3	0.28	$0.46^{m^3} - 0.18^{m^3}$
						発生土処分			m3	0.28	
平均管径と総延長の計算											
箇所	管種	径	延長	余堀り	計上分	備考					
H=600 砂利部⑨	マンホール管	60.5	1.00		1.00						
		径 61		総延長	1.00						

土工費数量調書11

略 図							名 称		形状寸法		単位	数量	計 算 式						
補助単独	舗装区分	土工計算方法				備考													
—	町道部⑩	掘削断面×総延長				80A		舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	6.02	3.01	×	箇所 2					
掘削 埋戻し 89 舗装版取壊 再生密粒度AS 再生粒調碎石 RM40-0 再生切込碎石 RC40-0 発生土 埋戻し用砂 5-0 1039 機械掘削 1089 489 300 89 100 600								バック材による舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バック材 クロー山積0.28m3	m2	1.81	0.60	×	3.01					
								バック材掘削積込	クロー型 山積0.28m3(平積0.2)	m3	1.88	0.60	×	1.039	×	3.01			
								管路埋戻費（機械埋戻 バック材） 砂(埋め戻し用)	クロー型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	m3	0.87	0.60	×	0.489	-	0.006	)	×	3.01
								管路埋戻費（機械埋戻 バック材） 発生土	クロー型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	m3	0.31	0.60	×	0.170	×	3.01			
								路盤工（施工幅1.8m未満） 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC40-0 タンバ	m2	1.81	0.60	×	3.01					
								路盤工（施工幅1.8m未満） 上層路盤 全仕上り厚17cm	RM40-0 タンバ	m2	1.81	0.60	×	3.01					
								アスファルト舗装工（人力） 舗装厚3cm	再生密粒度アスコン（13） 瀝青材散布なし	m2	1.81	0.60	×	3.01					
								発生土運搬	ダンプトラック4 t 積級 クロー山積0.28m ³ L=10.0m	m3	1.57	1.88	-	0.31					
								発生土処分		m3	1.57								
								アスファルト塊・コンクリート塊（無筋） 運搬費 現場～処分場	ダンプトラック4 t 積級 クロー山積0.28m ³ L=10.0m	m3	0.09	0.60	×	0.050	×	3.01			
廃材持込料 As廃材	東松山県土整備事務所	t	0.21	0.09	×	2.350													
アスファルト切断濁水処分費	中間処理後、最終処分場に搬入 （処理に焼却又は溶解を含まず）	m3	0.008	0.130	÷	100	×	6.02											
	径 89		総延長	3.01	アスファルト切断濁水運搬				積載量 2t 運搬距離 25.0kmまで	t	0.010	0.008	×	1.200	=	0.010	※配水管布設工へ計上		

土工費数量調書12

略 図				名 称		形状寸法		単位	数量	計 算 式								
補助単独	舗装区分	土工計算方法			備考													
—	町道部⑪	掘削断面×総延長			80A		舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	1.22	0.61	×	箇所 2					
掘削埋戻し 120 550 489 舗装版取壊 再生密粒度AS 再生粒調碎石 RM40-0 再生切込碎石 RC40-0 発生土 埋戻し用砂 5-0 人力掘削 600 30 170 230 170 300 89 100 489 1089							バックホーによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホー クローラ山積0.28m3	m2	0.37	0.60	×	0.61					
							バックホー掘削積込	クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	m3	0.20	0.60	×	0.550	×	0.61			
							管路埋戻費（機械埋戻 バックホー） 砂(埋め戻し用)	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し＋締固め	m3	0.18	0.60	×	0.489	－	0.006	)	×	0.61
							管路埋戻費（機械埋戻 バックホー） 発生土	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し＋締固め	m3	0.06	0.60	×	0.170	×	0.61			
							路盤工（施工幅1.8m未満） 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC40-0 タンバ	m2	0.37	0.60	×	0.61					
							路盤工（施工幅1.8m未満） 上層路盤 全仕上り厚17cm	RM40-0 タンバ	m2	0.37	0.60	×	0.61					
							アスファルト舗装工（人力） 舗装厚3cm	再生密粒度アスコン（13） 瀝青材散布なし	m2	0.37	0.60	×	0.61					
							発生土運搬	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28㎡ L=10.0m	m3	0.32	0.20	+	0.18	－	0.06			
							発生土処分		m3	0.32								
							人力掘削	土砂,現場制約あり	m3	0.18	0.489	×	0.600	－	0.006	)	×	0.61
							アスファルト塊・コンクリート塊（無筋） 運搬費 現場～処分場	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28㎡ L=10.0m	m3	0.02	0.60	×	0.050	×	0.61			
							廃材持込料 As廃材	東松山県土整備事務所	t	0.05	0.02	×	2.350					
							アスファルト切断濁水処分費	中間処理後、最終処分場に搬入 （処理に焼却又は溶解を含まず）	m3	0.002	0.130	÷	100	×	1.22			
							アスファルト切断濁水運搬	積載量 2t 運搬距離 25.0kmまで	t	0.002	0.002	×	1.200	=	0.002	※配水管布設工へ計上		

土工費数量調書13

略 図							名 称		形状寸法		単位	数量	計 算 式									
補助単独	舗装区分	土工計算方法			備考																	
－	町道部⑫	掘削断面×総延長			150A		舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	14.99	$0.890 \times \frac{\text{箇所}_1}{1} + 7.05 \times \frac{\text{箇所}_2}{2}$											
掘削 埋戻し 舗装版取壊 再生密粒度AS 再生粒調砕石 RM40-0 再生切込砕石 RC40-0 発生土 埋戻し用砂 5-0 機械掘削 890 30 170 230 670 300 165 100 565 1615 1665							バックホーによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホー クローラ山積0.28m3	m2	6.27	0.89×7.05											
							バックホー掘削積込	クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	m3	10.13	$0.89 \times 1.615 \times 7.05$											
							管路埋戻費（機械埋戻 バックホー） 砂(埋め戻し用)	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し＋締固め	m3	3.40	$0.89 \times 0.565 - 0.021 \times 7.05$											
							管路埋戻費（機械埋戻 バックホー） 発生土	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し＋締固め	m3	4.20	$0.89 \times 0.670 \times 7.05$											
							路盤工（施工幅1.8m未満） 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC40-0 タンノバ	m2	6.27	0.89×7.05											
							路盤工（施工幅1.8m未満） 上層路盤 全仕上り厚17cm	RM40-0 タンノバ	m2	6.27	0.89×7.05											
							アスファルト舗装工（人力） 舗装厚3cm	再生密粒度アスコン（13） 瀝青材散布なし	m2	6.27	0.89×7.05											
							平均管径と総延長の計算							発生土運搬	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m³ L=10.0m	m3	5.93	$10.13 - 4.20$				
							箇所	管種	径	延長	余堀り	計上分	備考	発生土処分		m3	5.93					
							H=1400 町道部⑫	マンホール管	165.2	6.55	0.5	7.05		アスファルト塊・コンクリート塊（無筋） 運搬費 現場～処分場	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m³ L=10.0m	m3	0.31	$0.89 \times 0.050 \times 7.05$				
							廃材持込料 As廃材	東松山県土整備事務所	t	0.73	0.31×2.350											
							アスファルト切断濁水処分費	中間処理後、最終処分場に搬入 （処理に焼却又は溶解を含まず）	m3	0.019	$0.130 \div 100 \times 14.99$											
		径 165		総延長	7.05		アスファルト切断濁水運搬	積載量 2t 運搬距離 25.0kmまで	t	0.023	$0.019 \times 1.200 = 0.023$	※配水管布設工へ計上										

土工費数量調書13-2

略 図				名 称		形状寸法		単位	数量	計 算 式									
補助単独	舗装区分	土工計算方法	備考																
—	町道部⑫	掘削断面×総延長	150A	軽量鋼矢板たて込み・引抜き工 (両側分) (機械施工)								掘削深2.0m以下 バックホウ 山積0.28m3〔平積0.2m3〕	m	14.10	7.05	m	×	2.00	枚
掘削 埋戻し 1615 1665 565 890 再生密粒度AS 再生粒調碎石 RM40-0 再生切込碎石 RC40-0 発生土 埋戻し用砂 5-0																			
				軽量鋼矢板賃料		2日 標準作業 3回使用	t	0.18	t / m	×	6.00	m							
				軽量金属製支保材設置・撤去		水圧式ハイドロポート 1段 (2.0m以下)	m	7.05	m	×	1.00	段							
				支保材賃料		1段 持込み長2m 2日供用	式	1.00											
平均管径と総延長の計算																			
箇所		管種	径	延長	余堀り	計上分	備考												
H=600																			
町道部⑫		マンタム管	165.2	7.05		7.05													

土工費数量調書 14

略 図							名 称		形状寸法		単位	数量	計 算 式					
補助単独		舗装区分		土工計算方法			備考											
—		不断水工部②		掘削断面×総延長			不断水		舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	3.64	$\frac{m}{1.200} \times \left(\frac{\text{箇所}}{1} + \frac{m}{1.22} \times \frac{\text{箇所}}{2} \right)$					
The diagram illustrates the cross-sectional details of the excavation and backfilling work. Key components include: - Mechanical Excavation (機械掘削) section with layers of recycled aggregate (再生粒調砕石 RM40-0, RC40-0) and generated soil (発生土). - Manual Excavation (人力掘削) section showing backfill sand (埋戻し用砂 5-0). - Backfilling (バックホウ) section. - Overall dimensions: 1050mm total height, 820mm width at base, 1200mm length for some sections. - Layer thicknesses: 170mm, 230mm, 670mm, 300mm, 220mm, 300mm.									バックホウによる舗装版直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホウ クローラ山積0.28m³	m²	1.46	$\frac{m}{1.200} \times \frac{m}{1.220}$					
									バックホウ掘削積込	クローラ型山積0.28m³ (平積0.2)	m³	1.54	$\frac{m}{1.200} \times \frac{m}{1.050} \times \frac{m}{1.22}$					
									管路埋戻費（機械埋戻 バックホウ）砂（埋め戻し用）	クローラ型 山積0.28m³ 埋戻し＋締固め	m³	1.15	$\frac{m}{1.200} \times \frac{m}{0.820} - \frac{m^2}{0.038} \times \frac{m}{1.22}$					
									管路埋戻費（機械埋戻 バックホウ）発生土	クローラ型 山積0.28m³ 埋戻し＋締固め	m³	0.98	$\frac{m}{1.200} \times \frac{m}{0.670} \times \frac{m}{1.22}$					
									路盤工（施工幅1.8m未満）下層路盤 全仕上り厚23cm	RC40-0 タンパ	m²	1.46	$\frac{m}{1.200} \times \frac{m}{1.220}$					
									路盤工（施工幅1.8m未満）上層路盤 全仕上り厚17cm	RM40-0 タンパ	m²	1.46	$\frac{m}{1.200} \times \frac{m}{1.220}$					
									アスファルト舗装工（人力）舗装厚3cm	再生密粒度アスコン（13） 瀝青材散布なし	m²	1.46	$\frac{m}{1.200} \times \frac{m}{1.220}$					
									平均管径と総延長の計算									ダンプトラック4 t 積級
H=1400 不断水工部②	DCIP	220		1.22	1.22		発生土運搬											
							発生土処分			m³	1.71							
							人力掘削	土砂、現場制約あり		m³	1.15	$\frac{m}{0.820} \times \frac{m}{1.200} - \frac{m^2}{0.038} \times \frac{m}{1.220}$						
							アスファルト塊・コンクリート塊（無筋）運搬費 現場～処分場	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m³ L=10.0m	m³	0.07	$\frac{m}{1.200} \times \frac{m}{0.050} \times \frac{m}{1.220}$							
							廃材持込料 As廃材	東松山県土整備事務所	t	0.16	$\frac{m^3}{0.07} \times \frac{t/m^3}{2.350}$							
							アスファルト切斷濁水処分費	中間処理後、最終処分場に搬入（処理に焼却又は溶融を含まず）	m³	0.005	$\frac{m}{0.130} \div \frac{m}{100} \times \frac{m}{3.640}$							
		径 220		総延長	1.22		アスファルト切斷濁水運搬	積載量 2t 運搬距離 25.0kmまで	t	0.006	$\frac{t/m^3}{0.005} \times \frac{t/m^3}{1.200} = \frac{m}{0.006}$ ※配水管布設工へ計上							

土工費数量調書 14-2

[illegible]

土工費数量調書15

略 図				名 称		形状寸法		単位	数量	計 算 式									
補助単独	舗装区分	土工計算方法		備考															
—	民地④	掘削断面×総延長		φ 20		バックホー掘削積込	クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	m3	0.95	$0.150^m \times 0.60^m \times 10.50^m$									
掘削埋戻し 150 426 機械掘削 発生土 砂質土 (埋戻用) 5-0 人力掘削 150 300 26 100 426 576 600						管路埋戻費（機械埋戻 バックホー） 砂(埋め戻し用)	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し＋締固め	m3	2.67	$0.600^m \times 0.426^m - 0.001^m \times 10.50^m$									
						管路埋戻費（機械埋戻 バックホー） 発生土	クローラ型 山積0.28m3	m3	0.95	$0.15^m \times 0.60^m \times 10.50^m$									
						発生土運搬 現場～処分地	ダンプトラック4 t 積 DID区間無 BH0.28㎡ L=10.0km	m3	2.67	$0.95^{m^3} + 2.67^{m^3} - 0.95^{m^3}$									
						発生土処分		m3	2.67										
						人力掘削	土砂、現場制約あり	m3	2.67	$0.426^m \times 0.600^m - 0.001^{m^2} \times 10.50^m$									
						平均管径と総延長の計算													
						箇所		管種	径	延長	余堀り	計上分	備考						
H=450 田口		H1VP	26	10.00	0.50	10.50													

数量計算書

仮設工

4 土工費

1 撤去

[illegible]

土工費数量調書 1

[illegible]

土工費数量調書2

略 図				名 称	形状寸法	単位	数量	計 算 式				
補助単独	舗装区分	土工計算方法		備考								
－	砂利部③	掘削断面×総延長		150A								
掘削 埋戻し 915 機械掘削 粒調砕石 M30-0 発生土 600 100 815 915					バックホ掘削積込	クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	m3	3.11	$0.600 \times 0.915 \times 5.67$			
					管路埋戻費(機械埋戻 バックホリ)発生土	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	m3	2.77	$0.600 \times 0.815 \times 5.67$			
					路盤工(施工幅1.8m未満) 上層路盤 全仕上り厚10cm	M30-0 タンパ	m2	3.40	0.600×5.67			
					発生土運搬	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m3	0.34	$3.11 - 2.77$			
					発生土処分		m3	0.34				
平均管径と総延長の計算												
箇所	管種	径	延長	余堀り	計上分	備考						
H=750 砂利部③	マンタム管	165.2	5.67		5.67							
		径 165										
			総延長		5.67							

土工費数量調査3

略 図						名 称	形状寸法	単位	数量	計 算 式																																																																																																																																																																																					
補助単独	舗装区分	土工計算方法		備考																																																																																																																																																																																											
—	交差点部	掘削断面×総延長		150A		バックホーによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホー クローラ山積0.28m3	m2	8.73	$0.600^m \times 14.550^m$																																																																																																																																																																																					
掘削 埋戻し 50 715 50 舗装版取壊し 再生密粒度AS 再生粗粒度AS 再生粒調碎石 RM40-0 再生切込碎石 RC40-0 発生土 機械掘削 600 50 50 100 140 425 765 <tr><td>バックホー掘削積込</td><td>クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)</td><td>m3</td><td>6.24</td><td>$0.600^m \times 0.715^m \times 14.55^m$</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>管路埋戻費（機械埋戻 バックホー） 発生土</td><td>クローラ型 山積0.28m3 埋戻し＋締固め</td><td>m3</td><td>3.71</td><td>$0.600^m \times 0.425^m \times 14.55^m$</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>路盤工（施工幅1.8m未満） 下層路盤 全仕上り厚14cm</td><td>RC40-0(発生材) タンパ</td><td>m2</td><td>8.73</td><td>$0.600^m \times 14.550^m$</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>路盤工（施工幅1.8m未満） 上層路盤 全仕上り厚10cm</td><td>RM40-0(発生材) タンパ</td><td>m2</td><td>8.73</td><td>$0.600^m \times 14.550^m$</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>アスファルト舗装工（人力） 舗装厚5cm</td><td>再生粗粒度アスコン（20） プライムコート</td><td>m2</td><td>8.73</td><td>$0.600^m \times 14.550^m$</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>アスファルト舗装工（人力） 舗装厚5cm</td><td>再生密粒度アスコン（13） タックコート</td><td>m2</td><td>8.73</td><td>$0.600^m \times 14.550^m$</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>発生土運搬</td><td>ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28㎡ L=10.0m</td><td>m3</td><td>0.44</td><td>$6.24^{m3} - 3.71^{m3} - 1.22^{m3} - 0.873^{m3}$</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>発生土処分</td><td></td><td>m3</td><td>0.44</td><td colspan="3"></td></tr> <tr><td colspan="6">平均管径と総延長の計算</td><td>アスファルト塊・コンクリート塊（無筋） 運搬費 現場～処分場</td><td>ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28㎡ L=10.0m</td><td>m3</td><td>0.44</td><td>$0.600^m \times 0.050^m \times 14.550^m$</td><td colspan="2"></td></tr> <tr><td>箇所</td><td>管種</td><td>径</td><td>延長</td><td>余堀り</td><td>計上分</td><td>備考</td><td colspan="6"></td></tr> <tr><td>H=600 交差点部</td><td>レンタル管</td><td>165.2</td><td>14.55</td><td></td><td>14.55</td><td></td><td colspan="6"></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="6">廃材持込料 As廃材 東松山県土整備事務所 t 1.03 $0.44^{m^3} \times 2.350^{t/m^3}$</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="6"></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="6"></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="6"></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="6"></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td colspan="6"></td></tr> <tr><td></td><td></td><td>径 165</td><td></td><td>総延長</td><td>14.55</td><td></td><td colspan="6"></td></tr>						バックホー掘削積込	クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	m3	6.24	$0.600^m \times 0.715^m \times 14.55^m$			管路埋戻費（機械埋戻 バックホー） 発生土	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し＋締固め	m3	3.71	$0.600^m \times 0.425^m \times 14.55^m$			路盤工（施工幅1.8m未満） 下層路盤 全仕上り厚14cm	RC40-0(発生材) タンパ	m2	8.73	$0.600^m \times 14.550^m$			路盤工（施工幅1.8m未満） 上層路盤 全仕上り厚10cm	RM40-0(発生材) タンパ	m2	8.73	$0.600^m \times 14.550^m$			アスファルト舗装工（人力） 舗装厚5cm	再生粗粒度アスコン（20） プライムコート	m2	8.73	$0.600^m \times 14.550^m$			アスファルト舗装工（人力） 舗装厚5cm	再生密粒度アスコン（13） タックコート	m2	8.73	$0.600^m \times 14.550^m$			発生土運搬	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28㎡ L=10.0m	m3	0.44	$6.24^{m3} - 3.71^{m3} - 1.22^{m3} - 0.873^{m3}$			発生土処分		m3	0.44				平均管径と総延長の計算						アスファルト塊・コンクリート塊（無筋） 運搬費 現場～処分場	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28㎡ L=10.0m	m3	0.44	$0.600^m \times 0.050^m \times 14.550^m$			箇所	管種	径	延長	余堀り	計上分	備考							H=600 交差点部	レンタル管	165.2	14.55		14.55															廃材持込料 As廃材 東松山県土整備事務所 t 1.03 $0.44^{m^3} \times 2.350^{t/m^3}$																																																																									径 165		総延長	14.55							
						バックホー掘削積込	クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	m3	6.24	$0.600^m \times 0.715^m \times 14.55^m$																																																																																																																																																																																					
						管路埋戻費（機械埋戻 バックホー） 発生土	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し＋締固め	m3	3.71	$0.600^m \times 0.425^m \times 14.55^m$																																																																																																																																																																																					
						路盤工（施工幅1.8m未満） 下層路盤 全仕上り厚14cm	RC40-0(発生材) タンパ	m2	8.73	$0.600^m \times 14.550^m$																																																																																																																																																																																					
						路盤工（施工幅1.8m未満） 上層路盤 全仕上り厚10cm	RM40-0(発生材) タンパ	m2	8.73	$0.600^m \times 14.550^m$																																																																																																																																																																																					
						アスファルト舗装工（人力） 舗装厚5cm	再生粗粒度アスコン（20） プライムコート	m2	8.73	$0.600^m \times 14.550^m$																																																																																																																																																																																					
						アスファルト舗装工（人力） 舗装厚5cm	再生密粒度アスコン（13） タックコート	m2	8.73	$0.600^m \times 14.550^m$																																																																																																																																																																																					
						発生土運搬	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28㎡ L=10.0m	m3	0.44	$6.24^{m3} - 3.71^{m3} - 1.22^{m3} - 0.873^{m3}$																																																																																																																																																																																					
						発生土処分		m3	0.44																																																																																																																																																																																						
						平均管径と総延長の計算						アスファルト塊・コンクリート塊（無筋） 運搬費 現場～処分場	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28㎡ L=10.0m	m3	0.44	$0.600^m \times 0.050^m \times 14.550^m$																																																																																																																																																																															
						箇所	管種	径	延長	余堀り	計上分	備考																																																																																																																																																																																			
						H=600 交差点部	レンタル管	165.2	14.55		14.55																																																																																																																																																																																				
													廃材持込料 As廃材 東松山県土整備事務所 t 1.03 $0.44^{m^3} \times 2.350^{t/m^3}$																																																																																																																																																																																		
		径 165		総延長	14.55																																																																																																																																																																																										

土工費数量調書4

[illegible]

土工費数量調書5

略 図							名 称	形状寸法	単位	数量	計 算 式										
補助単独	舗装区分	土工計算方法			備考																
—	町道部⑤	掘削断面×総延長			150A		バックホーによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホー クローラ山積0.28m3	m2	11.84	0.600×19.730										
掘削 埋戻し 30 685 715 舗装版取壊し 再生密粒度AS 再生粒調砕石 RM40-0 機械掘削 再生切込砕石 RC40-0 発生土 50 150 230 285 600																					
							バックホー掘削積込	クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	m3	8.11	$0.600 \times 0.685 \times 19.73$										
							管路埋戻費（機械埋戻 バックホー） 発生土	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し＋締固め	m3	3.37	$0.600 \times 0.285 \times 19.73$										
							路盤工（施工幅1.8m未満） 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC40-0(発生材) タンバ	m2	11.84	0.600×19.730										
							路盤工（施工幅1.8m未満） 上層路盤 全仕上り厚15cm	RM40-0(発生材) タンバ	m2	11.84	0.600×19.730										
							アスファルト舗装工（人力） 舗装厚5cm	再生密粒度アスコン（13） プライムコート	m2	11.84	0.600×19.730										
							発生土運搬	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m3	0.24	$8.11 - 3.37 - 2.72 - 1.78$										
							発生土処分		m3	0.24											
							平均管径と総延長の計算							アスファルト塊・コンクリート塊（無筋）	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m3	0.36	$0.600 \times 0.030 \times 19.730$			
							箇所		管種	径	延長	余堀り	計上分	備考							
H=550 町道部⑤		レンタル管	165.2	19.73		19.73															
							廃材持込料 As廃材	東松山県土整備事務所	t	0.85	0.36×2.350										

土工費数量調書6

[illegible]

土工費数量調査7

略 図							名 称	形状寸法	単位	数量	計 算 式						
補助単独	舗装区分	土工計算方法			備考												
—	町道部⑧	掘削断面×総延長			50A		バックホーによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホー クローラ山積0.28m ³	m ²	5.57	0.600×9.28						
掘削 埋戻し																	
	舗装版取壊し		再生密粒度AS		50	611											
			再生粒調砕石 RM40-0		150		バックホー掘削積込	クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2)	m ³	3.24	$0.600 \times 0.581 \times 9.28$						
	機械掘削		再生切込砕石 RC40-0		230		管路埋戻費 (機械埋戻 バックホー) 発生土	クローラ型 山積0.28m ³ 埋戻し+締固め	m ³	1.01	$0.600 \times 0.181 \times 9.28$						
			発生土		181												
							路盤工 (施工幅1.8m未満) 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC40-0 (発生材) タンパ	m ²	5.57	0.600×9.28						
							路盤工 (施工幅1.8m未満) 上層路盤 全仕上り厚15cm	RM40-0 (発生材) タンパ	m ²	5.57	0.600×9.28						
							アスファルト舗装工 (人力) 舗装厚5cm	再生密粒度アスコン (13) プライムコート	m ²	5.57	0.600×9.28						
	600																
							発生土運搬	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m ³	0.11	$3.24 - 1.01 - 1.28 - 0.84$						
							発生土処分		m ³	0.11							
平均管径と総延長の計算							アスファルト塊・コンクリート塊 (無筋)	ダンプトラック4 t 積級									
箇所	管種	径	延長	余堀り	計上分	備考	運搬費 現場へ処分場	クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m ³	0.17	$0.600 \times 0.030 \times 9.28$						
H=550 町道部⑧	マンタル管	60.5	9.28		9.28												
							廃材持込料 As廃材	東松山県土整備事務所	t	0.40	0.17×2.350						
		径 61															
					総延長	9.28											

土工費数量調書8

略 図				名 称		形状寸法		単位	数量	計 算 式		
補助単独	舗装区分	土工計算方法		備考								
—	砂利部⑨	掘削断面×総延長		50A								
掘削埋戻し 199 100 561 600 199 100 561 600 粒調碎石 M30-0 機械掘削 発生土												
						バックホウ掘削積込	クローラ型 山積0.28m3 (平積0.2)	m3	0.40	$0.600^m \times 0.661^m \times 1.00^m$		
						管路埋戻費 (機械埋戻 バックホウ) 発生土	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	m3	0.34	$0.600^m \times 0.561^m \times 1.00^m$		
						路盤工 (施工幅1.8m未満) 上層路盤 全仕上り厚10cm	M30-0 タンパ	m2	0.60	$0.600^m \times 1.000^m$		
						発生土運搬	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m3	0.06	$0.40^{m3} - 0.34^{m3}$		
						発生土処分		m3	0.06			
平均管径と総延長の計算												
箇所		管種	径	延長	余堀り	計上分	備考					
H=600 砂利部⑨		トンネル管	60.5	1.00		1.00						

土工費数量調書9

略 図							名 称	形状寸法	単位	数量	計 算 式									
補助単独	舗装区分	土工計算方法			備考															
—	町道部⑩	掘削断面×総延長			80A		パック材による舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 パック材 クローラ山積0.28m3	m2	1.51	$\frac{0.600}{\text{m}} \times \frac{2.51}{\text{m}}$									
掘削埋戻し 30 959 舗装版取壊し 再生密粒度AS 再生粒調碎石 RM40-0 機械掘削 再生切込碎石 RC40-0 発生土 50 150 230 559 989 600																				
							パック材掘削積込	クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	m3	1.44	$\frac{0.600}{\text{m}} \times \frac{0.959}{\text{m}} \times \frac{2.51}{\text{m}}$									
							管路埋戻費(機械埋戻 パック材) 発生土	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	m3	0.84	$\frac{0.600}{\text{m}} \times \frac{0.559}{\text{m}} \times \frac{2.51}{\text{m}}$									
							路盤工(施工幅1.8m未満) 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC40-0(発生材) タンバ	m2	1.51	$\frac{0.600}{\text{m}} \times \frac{2.51}{\text{m}}$									
							路盤工(施工幅1.8m未満) 上層路盤 全仕上り厚15cm	RM40-0(発生材) タンバ	m2	1.51	$\frac{0.600}{\text{m}} \times \frac{2.51}{\text{m}}$									
							アスファルト舗装工(人力) 舗装厚5cm	再生密粒度アスコン(13) プライムコート	m2	1.51	$\frac{0.600}{\text{m}} \times \frac{2.51}{\text{m}}$									
							発生土運搬	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m3	0.02	$\frac{1.44}{\text{m}^3} - \frac{0.84}{\text{m}^3} = \frac{0.35}{\text{m}^3}$	$\frac{0.23}{\text{m}^3}$								
							発生土処分		m3	0.02										
							平均管径と総延長の計算	アスファルト塊・コンクリート塊(無筋)	ダンプトラック4 t 積級	m	$\frac{0.600}{\text{m}} \times \frac{0.030}{\text{m}} \times \frac{2.51}{\text{m}}$									
							箇所	管種	径	延長	余堀り	計上分	備考	運搬費 現場へ処分場	クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m3	0.05	$\frac{0.600}{\text{m}} \times \frac{0.030}{\text{m}} \times \frac{2.51}{\text{m}}$		
							H=900 町道部⑩	ビニール管	89.1	2.51		2.51								
														廃材持込料 As廃材	東松山県土整備事務所	t	0.12	$\frac{0.05}{\text{m}^3} \times \frac{\text{t/m}^3}{2.350}$		
											</									

土工費数量調書10

略 図							名 称	形状寸法	単位	数量	計 算 式										
補助単独	舗装区分	土工計算方法			備考																
—	町道部⑫	掘削断面×総延長			150A		バックホーによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホー クローラ山積0.28m3	m2	5.83	0.890×6.55										
掘削 埋戻し 30 1535 舗装版取壊し 再生密粒度AS 再生粒調碎石 RM40-0 機械掘削 再生切込碎石 RC40-0 発生土 50 150 230 1135 1565 890																					
							バックホー掘削積込	クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	m3	8.95	$0.890 \times 1.535 \times 6.55$										
							管路埋戻費(機械埋戻 バックホー) 発生土	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	m3	6.62	$0.890 \times 1.135 \times 6.55$										
							路盤工(施工幅1.8m未満) 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC40-0(発生材) タンパ	m2	5.83	0.890×6.55										
							路盤工(施工幅1.8m未満) 上層路盤 全仕上り厚15cm	RM40-0(発生材) タンパ	m2	5.83	0.890×6.55										
							アスファルト舗装工(人力) 舗装厚5cm	再生密粒度アスコン(13) プライムコート	m2	5.83	0.890×6.55										
							発生土運搬	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m3	0.12	$8.95 - 6.62 - 1.34 - 0.87$										
							発生土処分		m3	0.12											
							平均管径と総延長の計算							アスファルト塊・コンクリート塊(無筋)	ダンプトラック4 t 積級			$0.890 \times 0.030 \times 6.55$			
							箇所	管種	径	延長	余堀り	計上分	備考	運搬費 現場へ処分場	クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m3	0.17	$0.890 \times 0.030 \times 6.55$			
H=1400 町道部⑫	レンタル管	165.2	6.55		6.55						0.17×2.350										
							廃材持込料 As廃材	東松山県土整備事務所	t	0.40	0.17×2.350										

土工費数量調書10-2

略 図		名 称		形状寸法		単位	数量	計 算 式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
補助単独	舗装区分	土工計算方法		備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
—	町道部⑫	掘削断面×総延長		150A																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
掘削 埋戻し 1615 1665 565 300 165 100 670 230 170 30 1615 565 300 165 100 670 230 170 30 890 <tr><td colspan="4">平均管径と総延長の計算</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>箇所</td><td>管種</td><td>径</td><td>延長</td><td>余堀り</td><td>計上分</td><td>備考</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>H=600 町道部⑫</td><td>マンタム型</td><td>165.2</td><td>6.55</td><td></td><td>6.55</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>						平均管径と総延長の計算								箇所	管種	径	延長	余堀り	計上分	備考			H=600 町道部⑫	マンタム型	165.2	6.55		6.55																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
						平均管径と総延長の計算																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
						箇所	管種	径	延長	余堀り	計上分	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
						H=600 町道部⑫	マンタム型	165.2	6.55		6.55																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

土工費数量調書11

略 図				名 称	形状寸法	単位	数量	計 算 式				
補助単独	舗装区分	土工計算方法		備考								
—	民地㊤	掘削断面×総延長		φ 20								
掘削 埋戻し 476 機械掘削 粒調砕石 M30-0 発生土 600 100 376 476					バックホ掘削積込	クローラ型 山積0.28m3(平積0.2)	m3	2.86	$0.600 \times 0.476 \times 10.00$			
					管路埋戻費 (機械埋戻 バックホリ) 発生土	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	m3	2.26	$0.600 \times 0.376 \times 10.00$			
					路盤工 (施工幅1.8m未満) 上層路盤 全仕上り厚10cm	M30-0 タンパ	m2	6.00	0.600×10.000			
					発生土運搬	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m3	0.60	$2.86 - 2.26$			
					発生土処分		m3	0.60				
平均管径と総延長の計算												
箇所	管種	径	延長	余堀り	計上分	備考						
H=450 田口	HVP	26	10.00		10.00							
		径 26										
			総延長		10.00							

数量計算書

給水管切替工

材料費数量調書

			φ 20 8 箇所	合計	設計数量
サドル付分水栓	DCIP φ 200×20	個	8	8	8
HIろくろ継手	φ 20 分・止水栓用	個	8	8	8
HIVP	φ 20 L=4.0m 小口	m 本	8.0 2	2	2
HIソケット	φ 20 小口	個	8	8	8
HIエルボ	φ 20 90° 小口	個	16	16	16
密着コア	φ 20	個	8	8	8

布設費数量調書					
			φ 20 8箇所	小計	設計数量
サドル分水栓建込み	分岐口径20 DCIP管 口径200	箇所	8	8	8
硬質塩化ビニル管据付工	呼び径20mm	m	8.0	8.0	8
硬質塩化ビニル管切断工	呼び径20mm	口	14	14	14
硬質塩化ビニル管TS継手工	呼び径20mm	口	48	48	48
コア取付け工	呼び径20mm	箇所	8	8	8

土工費数量調書

名 称	形状寸法	単位	①φ20 ヤマトヤ印 刷(187-1) 西巻(190-5) 磯田(195-4) 貸家(197-1)	②φ20 高梨(198-1) 佐藤(204-1) 田口(214-1) 田口(214-8)	合計	設計数量
舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	5.20	10.40	15.60	16
バックホによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホ クロー山積0.28m3	m2	1.20	2.40	3.60	4
バックホ掘削積込	クロー型 山積0.28m3(平積0.2)	m3	1.41	2.10	3.51	4
管路埋戻費(機械埋戻 バックホ) 砂(埋め戻し用)	クロー型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	m3	0.51	1.02	1.53	2
管路埋戻費(機械埋戻 バックホ) 発生材	クロー型 山積0.28m3 埋戻し+締固め	m3	0.44	0.17	0.61	1
路盤工(施工幅1.8m未満) 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC40-0 タンパ	m2	1.20	2.40	3.60	4
路盤工(施工幅1.8m未満) 上層路盤 全仕上り厚15cm	RM40-0 タンパ	m2	1.20	2.40	3.60	4
アスファルト舗装工(人力) 舗装厚5cm	再生密粒度アスコン(13) プライムコート	m2	1.20	2.40	3.60	4
発生土運搬 現場～処分場	BH0.28m ³ DID無 4t L=10.0m	m3	0.97	1.93	2.90	3
発生土処分		m3	0.97	1.93	2.90	3
アスファルト塊・コンクリート塊(無筋) 運搬費 現場～処分場	タンブトラック4t 積級 クロー山積0.28m ³ L=10.0m	m3	0.06	0.12	0.18	0.2
廃材持込料 As廃材	東松山県土整備事務所	t	0.14	0.28	0.42	0.4
アスファルト切断濁水処分費	中間処理後、最終処分場に搬入 (処理に焼却又は溶融を含まず)	m3	0.007	0.014	0.021	0.02
アスファルト切断濁水運搬	積載量 2t 運搬距離 25.0kmまで	t 台	0.008	0.017	0.025	配水管布設 工に含む

土工費数量調書①

略 図							名 称		形状寸法		単位	数量	計 算 式				
補助単独	舗装区分	土工計算方法			備考												
—	町道部①	掘削断面×総延長			HIVP φ 20		舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	5. 20	$0.600^m \times 1 + 1.00^m \times 2) \times 2$						
掘削 埋戻し 50 1176 舗装版破碎 再生密粒度AS 再生粒調砕石 RM40-0 再生切込砕石 RC40-0 機械掘削 発生土 埋戻し用砂 5-0 600 50 150 230 370 300 26 100 426 1226							バックホリによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホリ クローラ山積0.28m3	m2	1. 20	$0.600^m \times 2.000^m$						
							バックホリ掘削積込	クローラ型 山積0.28m3 (平積0.2)	m3	1. 41	$0.600^m \times 1.176^m \times 2.00^m$						
							管路埋戻費 (機械埋戻 バックホリ) 砂 (埋め戻し用)	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し + 締固め	m3	0. 51	$0.600^m \times 0.426^m - 0.001^{m^2} \times 2.00^m$						
							管路埋戻費 (機械埋戻 バックホリ) 発生土	クローラ型 山積0.28m3 埋戻し + 締固め	m3	0. 44	$0.600^m \times 0.370^m \times 2.00^m$						
							路盤工 (施工幅1.8m未満) 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC40-0 タンバ	m2	1. 20	$0.600^m \times 2.000^m$						
							路盤工 (施工幅1.8m未満) 上層路盤 全仕上り厚15cm	RM40-0 タンバ	m2	1. 20	$0.6000^m \times 2.000^m$						
							アスファルト舗装工 (人力) 舗装厚5cm	再生密粒度アスコン (13) プライムコート	m2	1. 20	$0.600^m \times 2.000^m$						
							発生土運搬	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m3	0. 97	$1.41^{m^3} - 0.44^{m^3}$						
							発生土処分		m3	0. 97							
							平均管径と総延長の計算							アスファルト塊・コンクリート塊 (無筋) 運搬費 現場～処分場	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m3	0. 06
							廃材持込料 As廃材	東松山県土整備事務所	t	0. 14	$0.06^m \times 2.350^{t/m^3}$						
							アスファルト切断濁水処分費	中間処理後、最終処分場に搬入 (処理に焼却又は溶解を含まず)	m3	0. 007	$0.130 \div 100 \times 5.200^m$						
							アスファルト切断濁水運搬	積載量 2t 運搬距離 25.0kmまで	t 台	0. 008	$0.007 \times 1.200^{t/m^3} = 0.008$	※配水管布設工へ計上					

土工費数量調書②

略 図							名 称		形状寸法		単位	数量	計 算 式			
補助単独	舗装区分	土工計算方法			備考											
—	町道部③	掘削断面×総延長			HIVP φ 20		舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	m	10.40	$\overset{\text{m}}{0.600} \times \overset{\text{m}}{\underset{1}{\text{箇所}}} + \overset{\text{m}}{1.00} \times \overset{\text{m}}{\underset{2}{\text{箇所}}} \times \overset{\text{m}}{\underset{4}{\text{箇所}}}$					
掘削 埋戻し 舗装版破碎 再生密粒度AS 再生粒調砕石 RM40-0 再生切込砕石 RC40-0 発生土 埋戻し用砂 5-0 機械掘削 50 150 230 70 300 26 100 426 50 876 600							バックホーによる舗装版 直接掘削・積込	舗装厚0cm超え10cm以下 バックホー クローラ山積0.28m ³	m ²	2.40	$\overset{\text{m}}{0.600} \times \overset{\text{m}}{4.000}$					
							バックホー掘削積込	クローラ型 山積0.28m ³ (平積0.2)	m ³	2.10	$\overset{\text{m}}{0.600} \times \overset{\text{m}}{0.876} \times \overset{\text{m}}{4.00}$					
							管路埋戻費 (機械埋戻 バックホー) 砂 (埋め戻し用)	クローラ型 山積0.28m ³ 埋戻し＋締固め	m ³	1.02	$\overset{\text{m}}{0.600} \times \overset{\text{m}}{0.426} - \overset{\text{m}^2}{0.001} \times \overset{\text{m}}{4.00}$					
							管路埋戻費 (機械埋戻 バックホー) 発生土	クローラ型 山積0.28m ³ 埋戻し＋締固め	m ³	0.17	$\overset{\text{m}}{0.600} \times \overset{\text{m}}{0.070} \times \overset{\text{m}}{4.00}$					
							路盤工 (施工幅1.8m未満) 下層路盤 全仕上り厚23cm	RC40-0 タンバ	m ²	2.40	$\overset{\text{m}}{0.600} \times \overset{\text{m}}{4.000}$					
							路盤工 (施工幅1.8m未満) 上層路盤 全仕上り厚15cm	RM40-0 タンバ	m ²	2.40	$\overset{\text{m}}{0.6000} \times \overset{\text{m}}{4.000}$					
							アスファルト舗装工 (人力) 舗装厚5cm	再生密粒度アスコン (13) プライムコート	m ²	2.40	$\overset{\text{m}}{0.600} \times \overset{\text{m}}{4.000}$					
							発生土運搬	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m ³	1.93	$\overset{\text{m}^3}{2.10} - \overset{\text{m}^3}{0.17}$					
							発生土処分		m ³	1.93						
							アスファルト塊・コンクリート塊 (無筋) 運搬費 現場～処分場	ダンプトラック4 t 積級 クローラ山積0.28m ³ L=10.0m	m ³	0.12	$\overset{\text{m}}{0.600} \times \overset{\text{m}}{0.050} \times \overset{\text{m}}{4.000}$					
廃材持込料 As廃材	東松山県土整備事務所	t	0.28	$\overset{\text{m}^3}{0.12} \times \overset{\text{t/m}^3}{2.350}$												
アスファルト切断濁水処分費	中間処理後、最終処分場に搬入 (処理に焼却又は溶解を含まず)	m ³	0.014	$\overset{\text{m}}{0.130} \div 100 \times \overset{\text{m}}{10.400}$												
	径 26	総延長	4.00	アスファルト切断濁水運搬	積載量 2t 運搬距離 25.0kmまで	t 台	0.017	$\overset{\text{t/m}^3}{0.014} \times \overset{\text{t/m}^3}{1.200} = 0.017$ ※配水本管新設工へ計上								